

# 平成23年度 秋田大学地域創生センター年報



# 目次 contents

## 巻頭言 ～新たな地域創生をめざして～

秋田大学副学長（評価・社会貢献担当）・地域創生センター長 中田 真一 .... 1

秋田大学地域創生センターの概要 ..... 2

## 平成23年度の活動実績

### 1. 地域協働部門

秋田大学の地域活性化への貢献

秋田大学地域創生センター教授・地域協働部門長 松岡 昌則 ..... 4

1. 1 公開講座 ..... 5

1. 2 横手分校 ..... 8

1. 3 北秋田分校 ..... 10

1. 4 自治体連携関係 ..... 13

1. 5 地域アカデミー ..... 17

1. 6 大学訪問 ..... 17

1. 7 地域創生センター主催 ..... 24

1. 8 他部局主催（年度計画推進経費による） ..... 25

1. 9 その他 ..... 37

### 2. 地域防災部門

地域防災部門長挨拶

秋田大学地域創生センター准教授・地域防災部門長 水田 敏彦 ..... 40

2. 1 秋田県の特性を考慮した地域防災のあり方に関する調査研究 ..... 41

2. 2 防災について地域で活動できる人材育成 ..... 45

2. 3 県及び市町村への防災施策に関する指導・助言 ..... 49

## 参考資料

平成23年度事業実施状況一覧 ..... 52

地域創生センター運営委員・地域創生課職員一覧 ..... 55

社会貢献事業で御協力いただいた学内教職員の方々 ..... 56

公開講座アンケート集計結果 ..... 58

大学訪問アンケート集計結果 ..... 60

講演会等アンケート集計結果 ..... 62

平成23年度社会貢献事業ポスター（一部） ..... 66

## 巻頭言

～新たな地域創生をめざして～

副学長（評価・社会貢献担当）  
地域創生センター長  
中田 真一

今、地域の活性化を目指して新たな地域創生が求められていますが、そこでのアカデミアが担う役割には大きなものがあります。地域にとって還元性の高い活動の展開、実践的地域創生リーダーの養成、地域社会学などの学問体系に基づく地域活性化の促進、教育活動や産業活動への波及などが挙げられます。

秋田大学の基本目標の一つに「地域と共に発展し地域と共に歩む『地域との共生』を目指す」とあります。秋田大学における社会貢献を担う組織については、平成16年度の大学法人化を機に“社会貢献推進機構/国際交流推進機構”を設置し、その後平成21年度からは“教育推進総合センター社会貢献推進部門”が担当してきました。

平成23年4月の“地域創生センター”の設置の目的は、それまでの実績を踏まえて、より一層地域に根差した活動を展開するところにあります。さらに同年9月には、それまでの地域貢献活動を“地域協働部門”で担当し、新たに地域防災に特化した活動を“地域防災部門”で担うこととし、2本の柱からなる組織としました。

“地域防災部門”は、平成23年の3.11大震災を踏まえて、地域防災のあり方について戦略的かつ組織的に調査・研究し、秋田県内各自治体および県民へ発信することにより、秋田県ないし日本海側北部における大規模な地震災害を想定して強固な地域防災システムを構築して、地域住民自らが防災活動を行い、災害に強い地域を形成することを目的として設置したものです。“地域防災部門”は「防災分野」および「地震・活断層分野」から構成され、それぞれの分野に専任教員（准教授）各1名と、ほかに地域防災アドバイザー1名を配置して、「地域防災・防災教育」および「地震・活断層研究」を行っています。秋田県と協働で防災対策を行うことから、主に「地震・活断層分野」は秋田県からの寄附金により運営しています。今後も、県内各自治体への指導・助言、調査研究等を積極的に行い、人材育成ないし県民全体の防災意識の向上を目指した啓発活動を活発に行っていきます。さらに研究面では、工学資源学研究科附属地域防災力研究センターと連携して活動を展開しています。

一方、“地域協働部門”には、専任教員1名を配置して地域資源発掘と活用方法の検討、地域資源を活用した地域づくりの提案・実践、地域を担う人材の育成、地域活性化策の調査・研究、自治体依頼の特定課題に関する調査・提案などを目指して活動を展開しています。また、県内への情報発信とより密接な地域連携を目指して横手分校（根岸均分校長）と北秋田分校（濱田純分校長）を開設していますが、両分校長を中心としたきわめて活発な活動を展開しています。

“地域創生センター”は、秋田大学が持つ力を活用した地域の活性化を目指し、大学と地域が双方向で情報・意見交換を行いながら地域と一体となって「地域再生の取り組み」を行っていきます。また、地域に安全・安心を提供するために、災害の歴史を風化させず、不断の努力を重ねて活発に活動してまいります。

なお、次の秋田大学広報誌【アプリーレ】（平成23年度発行）に、関係記事が掲載されていますのでご参照ください。No. 32, p. 10; No. 34, pp. 1～2, p. 10; No. 35, p. 10

## 地域創生センター概要

### ■設置目的

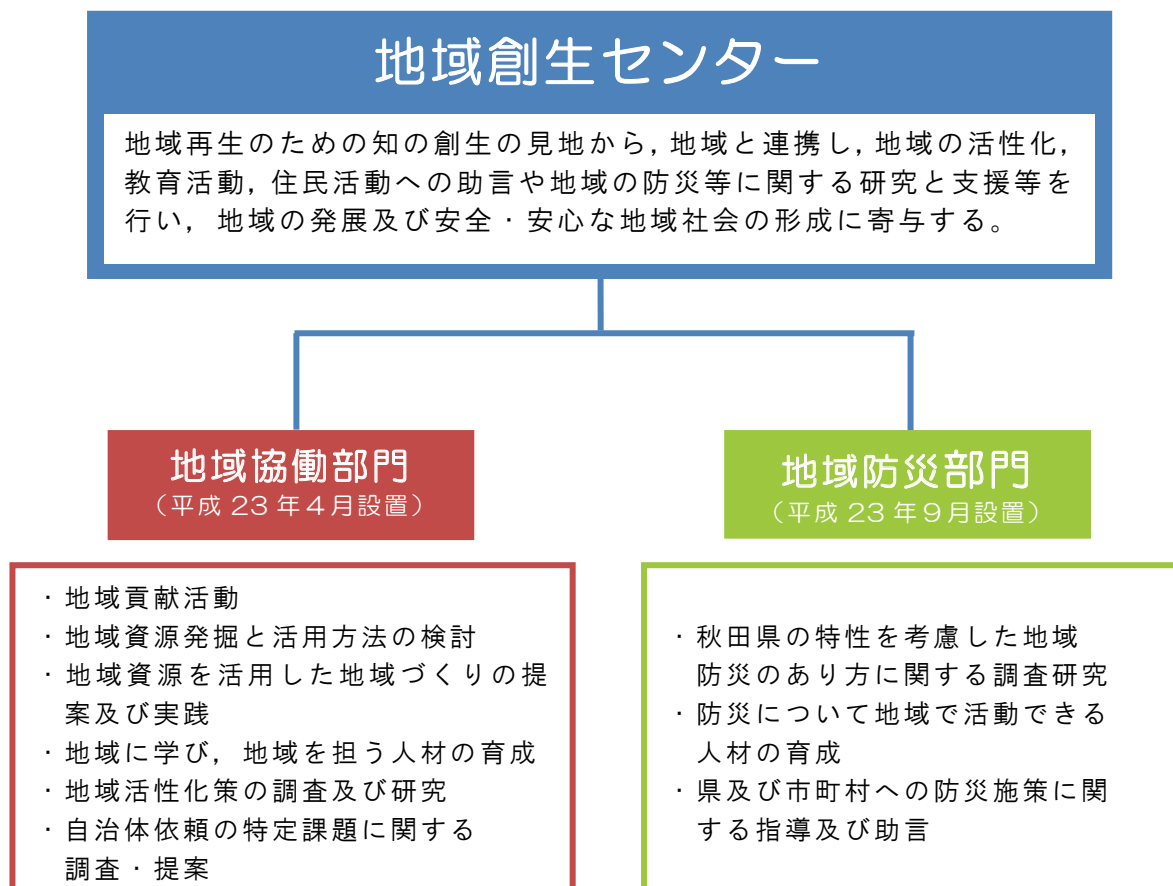
本センターは、地域と連携し、地域の活性化、教育活動、住民活動への助言等を行い、地域資源の発掘、地域づくりを担う人材の育成等を行うことを目的として設置が検討され、以下の沿革に示すとおり平成23年4月に設置された新しい組織である。

本センターは、秋田大学の社会貢献活動の拠点となるとともに、同年9月には地域防災部門を設置し、地域貢献・地域連携に止まらず、地域防災に関する人材育成や自治体の防災施策に関する指導・助言を行うことも目的としている。

### ■沿革

平成23年 2月	教育研究評議会において学内措置としてセンターの設置が了承
平成23年 4月	センター発足 地域協働部門に専任教員（教授）1名採用 大学本部棟に地域創生課を置き、センター長（兼任）、副センター長（地域協働部門専任教員）の体制でスタート
平成23年 9月	秋田県からの寄附を原資として地域防災部門が設置され、専任教員（准教授）1名採用 V B L内に研究室を借用
平成23年10月	地域防災部門に専任教員（准教授）1名採用 V B L内に研究室を借用

### ■組織図





# 1. 地域協働部門

## 秋田大学の地域活性化への貢献

地域創生センター地域協働部門 教授  
地域協働部門長

松岡 昌則

地域創生とは、そこに住む人々が安心して暮らすことのできる地域を創ることを目標とし、現在の地域社会を住民の協住と定住の空間として再構築する作業だと考えています。それは住民の主体的な取り組みによる生活の維持と向上の営みの形成ということができます。

地域創生センターの地域協働部門の役割は、それを秋田大学のさまざまな社会貢献活動を通して持続的地域社会の構築に貢献することにあると思います。

そのために、センターの地域協働部門の活動の内容は、①地域貢献活動（産学連携に関するものを除く）、②地域が有する資源の発掘と活用方法の検討に関すること、③地域資源を活用した地域づくりの提案及び実践に関すること、④地域に学び、地域を担う人材の育成に関すること、⑤地域活性化策の調査及び研究に関すること、⑥自治体から依頼のあった特定の課題に関する調査・提案に関することの6つが挙げられています。

日本の地域社会は、個別には完結しない生産・生活場面を、必要に応じて、いろいろなモメントで、みんなであるいは相互に補完し合って生活を守り維持してきた社会的結合体です。そしてそれぞれの歴史段階における補完のあり様が地域の変容ということになりますが、今日の地方は地域産業の衰退、コミュニティ機能の後退、共同消費手段の消失、過疎の一段の深化等が進み、地域社会の沈滞、疲弊があらわれています。このような状況で地域の活性化と再生は喫緊の課題であり、そのために住民や行政と大学が種々の場面で協働しながら地域課題を検討し、住民の意欲を結集し、地域の組織的再編を図ることが大きな意味をもってきます。そしてこのような活動に学生も参加して地域課題の解決に協力することも、地域と学生双方にとって有効な活動です。

とくにここ秋田県は、少子高齢化の波が大きく押し寄せています。その意味でも、秋田大学が住民との協働実践を通じて、秋田県における地域社会の活性化と再生を試みる意義は大きいといえます。

## 1. 1 公開講座

### (1) 英語の詩を読んでもみませんか？ —対訳で味わう英詩の世界と英国文化—

実施日 平成23年6月22日(水)～7月20日(水) 毎週水曜日 計5日間

会場 カレッジプラザ

担当講師 秋田大学教育文化学部欧米文化講座

准教授 大西洋一

受講者数 26名

「ソネット」(十四行詩)などの英短詩を対訳で読みながら、英詩に関する基礎的な知識や、それらが書かれた当時のイギリスの社会状況や文化について解説した。英詩のテキストの他、朗読CDや映画DVD、写真等を用いて、歴史や文化、現在のイギリスにおける詩の受容など、幅広い内容を分かりやすく解説し、受講者の好評を得た。



### (2) 地球環境とインフラの旅

実施日 平成23年8月8日(月)～9月26日(月) 毎週月曜日 計6日間

(8月15日(月)、9月19日(月)を除く)

会場 カレッジプラザ

担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科

土木環境工学専攻

教授 川上洵

准教授 萩野俊寛

准教授 日野智

准教授 浜岡秀勝

准教授 後藤文彦

准教授 徳重英信

受講者数 27名

都市や地域社会における日常生活に不可欠な、橋や交通システム等、社会資本(インフラストラクチャー)について解説した。写真や映像資料、模型等を用いて、初めて土木工学に触れる受講者にも分かりやすいよう配慮した講義で、「さらにこのテーマについて学んでみたい」という声も多く聞かれた。また、東日本大震災における事例についても多く言及され、特に実際に被災地に調査に赴いた講師の講義には、真剣な表情で聴き入っていた。



### (3) 身近な人を支える知識と技術 ～保健学からの提案～

実施日 平成23年11月10日(木)～12月1日(木) 毎週木曜日 計4日間  
会場 カレッジプラザ



担当講師 秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻  
作業療法学講座 助教 高橋恵一  
基礎看護学講座 教授 佐々木真紀子  
理学療法学講座 助教 上村佐知子  
母子看護学講座 助教 吉田倫子

受講者数 21名

保健学を通して、病気や障害を持つ人や、その家族について理解を深め、身近な人を支えるために必要な知識や技術を学んでもらうことを目的に開講した。乳児の人形を用いて正しい授乳の姿勢を学んだり、受講者同士でゼリー等を食べさせ合い、咀嚼・嚥下に適した姿勢について考えるなど、より実際的な内容の講義となった。受講者からは「わかりやすく参考になった」といった声が多く聞かれた。

### (4) 声楽講座 —秋田の歌曲を歌う—

実施日 平成23年11月13日(日)～12月18日(日) 毎週日曜日 計5日間  
会場 秋田大学60周年記念ホール  
担当講師 秋田大学教育文化学部音楽教育講座  
准教授 爲我井壽一

受講者数 18名

成田為三や小松耕輔といった、秋田県出身の作曲家の歌曲を歌いながら、基礎的な声楽発声や歌唱法について学んでもらうことを目的に開講した。実際に歌う他、秋田県出身の作曲家についてレクチャーを行い、作曲家や歌曲の背景について理解を深めた。最終回には、プロの伴奏ピアニストを招いて、練習の成果を発表した。質の高い伴奏で、練習を重ねてきた曲を歌うことができ、どの受講者も充実した様子で講座を終えた。



#### (5) 人形浄瑠璃に親しむ

実施日 平成23年11月26日(土)～12月24日(土) 毎週土曜日 計4日間  
会場 カレッジプラザ  
担当講師 秋田大学教育文化学部音楽教育講座 准教授 武内恵美子  
受講者数 44名



人形浄瑠璃は「文楽」の名称で親しまれ、第1回世界無形文化遺産に登録されるなど、世界で認められた音楽芸能である。しかし、機会が限られているため実際に鑑賞することが難しい。そうした人形浄瑠璃について、基礎的な知識や代表作について紹介し、広く関心を持ってもらうことを目的として開講した。基礎知識について講師が解説し、DVDで代表的な作品を紹介する他、実際に三味線や文楽人形の模型を手に取り、イメージを深めた。また講義内容に留まらず、講師の季節や講義内容を意識した着物の着こなしも大変好評だった。

#### (6) 総合自殺予防学インテンシブコース ～地域の絆づくりと自殺予防～

実施日 平成24年1月27日(金)～2月10日(金) 毎週金曜日 計3日間  
会場 カレッジプラザ  
担当講師 関西国際大学人間科学部人間心理学科  
教授 渡邊直樹  
東京都健康長寿医療センター研究所  
社会参加と地域保健研究チーム  
研究部長 藤原佳典  
新潟大学大学院医歯学総合研究科  
地域予防医学講座社会・環境医学分野  
教授 中村和利



コーディネーター

秋田大学大学院医学系研究科長・医学部長／公衆衛生学講座 教授 本橋豊

受講者数 21名

地域の現場で自殺対策に取り組む保健師や行政担当者、ボランティア等、実務経験者を対象として、総合自殺対策の現状と今後の展望を理解し、現場での対策推進に役立てることを目的として開講している。今年度は地域の絆づくりをテーマとして、様々な先進事例や実践例を学び、秋田における心の健康づくりや、自殺対策予防に生かす方法について考えた。今後も継続して地域の自殺予防に取り組んでいくため、来年度の継続開催を望む声が多く聞かれた。

## 1. 2 横手分校

### (1) 平成23年度サイエンス・キャラバン ハテナにチャレンジ教室

実施日 平成23年8月2日(火)  
会場 横手清陵学院中学校  
担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究所  
環境物質工学専攻  
准教授 加藤純雄  
助教 小笠原正剛  
学生13名  
参加者数 30名



小中学生を対象に、観察・実験を通して理科学習への興味・関心を高める目的で実施した。炎色反応や珪藻土、液体窒素の実験等の9カ所のブースを設け、参加者は自由に回って実験を体験した。参加者からは「分かりやすく説明してくれたので楽しかった」という声が聞かれ、有意義な一日となったようだった。

### (2) 平成23年度 第1回横手市小学校外国語活動研修会・秋田大学公開講座 小学校教員のための英語教育レッスン



実施日 平成23年8月22日(月)  
会場 横手市交流センターY<sup>2</sup>ぶらざ  
担当講師 秋田大学教育推進総合センター  
助教 濱田陽  
助教 ジョー・サイクス  
横手市教育委員会教育指導部教育指導課  
指導主事 西村直崇  
受講者数 22名

昨年度に引き続き、横手分校での開講は2回目となる今回は、平成23年度から導入された小学校5・6年生への外国語活動に伴い、授業の進め方のスキルや英語力向上を目的に開催された。受講者は、グループ討論や指導案作成などに取り組み、講師からのアドバイスに熱心に聞き入っていた。

### (3) 平成23年度大学生・高校生教職体験プログラム「教育ミニミニ実習」

実施日 平成23年12月26日(月)～12月28日(水)  
平成24年1月12日(木)～1月13日(金)  
会場 横手市立横手南中学校  
参加者 横手市内高校生18名  
秋田大学生4名



教員を目指す大学生・高校生と中学生との交流の場を設定し、自己の適性を知ることでの学びのモチベーションを高め、優れた教師育成の一助にすることを目的に実施した。実習は5日間に渡って行われ、実習生は、中学生の冬休みの課題学習指導、部活動指導補助、一人30分の実習授業、保護者との懇談会など幅広い業務を体験した。



参加した生徒・学生からは「教える側に立つこ

とで初めて仕事の大変さがわかった」という声が聞かれ、受入中学校からは「年の離れていない先輩たちが志をもって頑張る姿は中学生たちにも刺激になる」との期待の言葉が寄せられた。

#### (4) 中学生向け科学教室「果物の香りを作ろう！」

実施日 平成24年1月10日(火)

会場 秋田県立横手高等学校「青雲館」

担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科

環境物質工学専攻 講師 井上幸彦

参加者数 中学生10名、高校生3名



県南の中学生を対象に、香りに関する化学反応の実験を楽しみながら体験し、科学に対する興味・関心を高めることを目的として開催した。実験は、組み合わせによって香りが変わる試薬を混ぜ合わせ、

化学反応させることで果物の香りを作るというもので、参加者は思い思いに試薬を選び、実験に取り組んでいた。参加者からは「普段はできない体験になった」「科学を身近に感じる事ができた」といった声が聞かれ、科学のおもしろさを実感したようだった。

#### (5) 秋田大学横手分校講演会「横手を訪れた画家たち」



実施日 平成24年2月18日(土)

会場 横手市交流センターY<sup>2</sup>ぷらざ

担当講師 秋田大学教育文化学部美術教育講座

准教授 猪巻明

参加者数 110名

市民からの要望が多かった郷土を題材とした芸術を取り上げ、地域の新たな魅力発見に繋げることを目的として開催した。講演では、藤田嗣治や落合朗風等、これまで横手を訪れ、かまくらを題材とした作品を残した画家たち、また横手にゆかりのある画家を絵画に触れながら紹介した。かまくらなど冬の情景を描いた作品が多く、前日まで雪まつりが開催されていたこともあり、とてもタイムリーな話題の講演会となった。

## (6) 横手分校学生地域交流「秋田大学オフィシャルいぶりがっこ製造プロジェクト」

横手市（総務企画部市長公室・産業経済部マーケティング推進課）並びに山内三又地区営農生産組合（山内いぶりがっこ生産者の会）の全面的な協力の下、本学は学生を主体として、①地域との交流、②伝統技法の継承、③新たな産品開発研究への学際的なアプローチの3つを目標に平成21年度からプロジェクトを実施している。

昨年度から引き続き、いぶりがっこの製造やパッケージ・製品しおりの作成、県内スーパーのバイヤーとの交渉の他、新たに、学生が企画・準備したなべっこ遠足の実施や地域イベントへの参加を通して地域情報発信、活気創出に取り組んだ。

H23年	6月28日	現地交流会
	8月26日	播種
	9月29日	採ろう！作ろう！ なべっこ遠足開催
	10月26日	収穫、燻煙作業
	27日	漬け込み
H24年	2月2日	いぶりんピック参加
	2月4日	樽開け
	3日	パック詰め作業
	2月26日	山内三又地区雪中運動会参加
	3月1日	製品出荷作業
	3月6日	成果報告・学内販売会（手形キャンパス）
	3月13日	学内販売会（本道キャンパス）



## 1. 3 北秋田分校

### (1) 北秋田活性化事業「秋田内陸縦貫鉄道復興プロジェクト」

①第1回秋田内陸線トレイン・ミーティング ～若い視点で語る秋田内陸線の未来～



実施日 平成23年9月10日（土）  
会場 秋田内陸縦貫鉄道列車内、北秋田市阿仁庁舎  
参加者 秋田内陸活性化本部  
交通政策監 佐藤廣道  
秋田北鷹高校生徒会8名  
秋田大学地域創生センター長 中田真一  
秋田大学北秋田分校長 濱田純  
秋田大学生5名



利用低迷が続く秋田内陸縦貫鉄道の振興・活性化に向け、若者の視点からアイデアや意見を募るという目的で開催。内陸線を通学に利用している秋田北鷹高等学校生徒と地元出身者を中心とした秋田大学生5名が、鷹巣―阿仁合間を走行する列車内で内陸線活性化について意見交換を行った。また、阿仁合駅到着後に開かれた全体会議では、イベントのPRや案内板についての意見のほか、北鷹高校とのコラボレーション商品販売や高校生による車内アナウンス等たくさんのアイデアが出され、活性化に向けての活発なやりとりが行われた。

## ②第2回秋田内陸線トレイン・ミーティング in 秋大祭 ～提言具体化のプレリュード～

実施日 平成23年10月22日(土)

会場 秋田大学

参加者 秋田内陸縦貫鉄道

取締役 佐藤廣道

秋田北鷹高校生17名

秋田大学地域創生センター長

中田真一

秋田大学 北秋田分校長 濱田純

秋田大学生5名



第1回目のトレイン・ミーティングで出されたアイデアを提言書としてまとめ、秋田内陸縦貫鉄道の佐藤廣道取締役へ提出し、提言書の内容について詳細を説明、意見交換を行った。また、高校生からは、学校の農園で収穫した栗を使用し、地元洋菓子店の協力により製作された2種類のどら焼きが試食として出され、その取組についての紹介があった。

意見交換の後には、学園祭でにぎわう手形キャンパス内とJR秋田駅「ぽぽろード」においてチラシを配るなどPR活動を行った。

## (2) 平成23年度サイエンス・キャラバン ハテナにチャレンジ教室「おもしろ理科実験」



実施日 平成23年10月29日(土)

会場 北秋田市鷹巣中学校 体育館

担当講師 教育文化学部教科教育学講座

准教授 川村教一

客員教授 石橋研一

技術職員 山下清次

学生 5名

参加者 400名

小・中学生の理科学習への関心や意欲を高めることを目的に開催された。今回は北秋田市の鷹巣中学校で行われた北秋田市・上小阿仁村小中学校理科・社会科研究発表会と同日開催のため、北秋田分校も共催として協力した。会場を訪れた400名の参加者は、二酸化炭素の上に浮かぶ不思議なシャボン玉やカルメ焼き等14の実験ブースを自由に回り、思い思いに実験を体験していた。

### (3) おもしろサイエンス・スクール ―わくわく子ども教室―

実施日 平成23年11月20日(日)  
会場 大館市立有浦小学校体育館  
担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科  
環境物質工学専攻  
教授 中田真一  
准教授 加藤純雄  
助教 小笠原正剛  
非常勤講師 野村正幸  
津村守



参加者 約500名

多くの児童・生徒に身の回りにあふれている科学に触れ合い、実際に体験してもらうことで科学に興味を持ってもらうことを目的に開催し、約500名の参加者が訪れた。会場には、電気やエコ、温度や珪藻土をテーマに16の様々な実験ブースが設置され、参加者は実験結果に歓声をあげながら興味津々の様子で実験を楽しんでいた。

### (4) 平成23年度大学改革シンポジウム

「地域課題解決のアプローチと地域に学び育つ学生力～秋田大学北秋田分校事業～」

実施日 平成23年11月21日(月)  
会場 北秋田市交流センター  
参加者数 180名

秋田大学が県内自治体と連携して実施している事業をより一層充実させるとともに、大学の地域貢献事業を内外に発信することを目的に開催した。北秋田分校(平成22年11月開設)でこれまで実施した連携事業の事例発表と、秋田大学・自治体・地元企業を交えたパネルディスカッションを実施。「地域活性化の諸課題と地域連携について」をテーマに、それぞれの立場から地域資源や風土を活かした地域活性化に向けて活発な意見交換が行われた。当日は、悪天候にもかかわらず、地元住民や自治体関係者など約180名が参加し、会場からも質問や要望が出されるなど参加者が一体となって地域活性化について考える場となった。

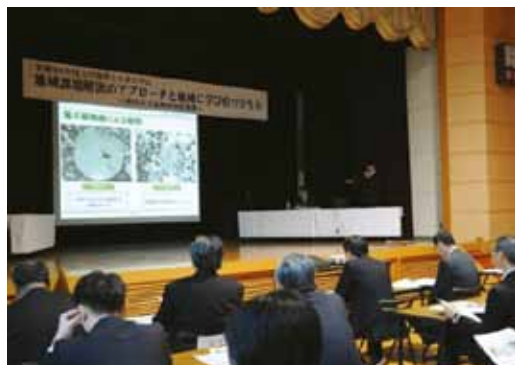
#### I. 北秋田分校事例紹介

「珪藻土を活用した冷却アイテムの実用化に向けて」

担当 秋田大学産学連携推進機構  
准教授 小川竜二郎  
秋田大学工学資源学部学生

「秋田内陸縦貫鉄道振興プロジェクト」

担当 秋田大学北秋田分校長 濱田純  
秋田大学教育文化学部学生  
秋田県立北鷹高等学校生徒会代表 6名



## II. パネルディスカッション

「地域活性化の諸課題と地域連携について」

コーディネーター 秋田大学地域創生センター 教授 松岡昌則

パネリスト 北秋田市 副市長 虻川広見

秋田内陸縦貫鉄道株式会社 取締役 佐藤廣道

北秋田 WATOGA 協同組合 プロモーター 鈴木和浩

### (5) 秋田大学北秋田分校公開講座

「巨大噴火の遺産、胡桃館遺跡 ～火山防災・地域活性化への活用を目指して～」

実施日 平成24年3月24日(土)

会場 北秋田市交流センター

担当講師 秋田大学教育文化学部自然環境講座

教授 林信太郎

受講者数 70名

自然科学的・歴史的に価値を持つ北秋田市胡桃館遺跡を題材に、十和田火山の過去と未来の噴火、遺跡の価値、防災と地域活性化への活用について理解を深めてもらうことを目的に開催した。講義では、入浴剤やチョークの粉を使って噴煙や火砕流の様子を再現する実験を交えて、胡桃館がどのようにして火山灰に埋まったかを解説した。定員を越える70名の参加があり、多くの方が地域資源への理解を深める機会となったようだった。



## 1. 4 自治体連携関係

### (1) 秋田大学と美郷町との連携協定締結式及び記念レクチャーコンサート

実施日 平成23年5月13日(金)

会場 美郷町公民館

担当講師 秋田大学教育文化学部音楽教育講座

教授 四反田素幸

演奏 富樫彩子、小野玲賀、大谷なつ賀

「水」を活用した教育・芸術・産業の振興と健康づくりを推進する事を目的に、美郷町と連携協定を締結した。同時に、協定締結を記念して『「水と音楽」～水を表現した作曲家たち～』と題したレクチャーコンサートを開催。美郷町をイメージした「水」に関連する曲を四反田教授による解説とともにピアノと箏の演奏を披露した。



## (2) 秋田大学・かもあおさ笑楽校共催 海辺の体験教室

会 場 男鹿市加茂青砂地区 かもあおさ笑楽校

担当講師 秋田大学教育文化学部自然環境講座 准教授 石井照久

かもあおさ笑楽校 魚さばき人 大友幸雄

男鹿市との連携協定を契機に、地元特産の海産物への理解を深めてもらうことを目的として開催した。会場となった「かもあおさ笑楽校」は、男鹿半島西海岸の活性化を目的に旧加茂青砂小学校を「加茂青砂ふるさと学習施設」として活用されており、これまで「海辺の体験教室」として、葛のツル編み細工やソーセージづくり、魚さばき教室などを開催している。

男鹿市との連携協定をきっかけとして、かもあおさ笑楽校との共催で地元「男鹿の海」で採れる魚の生態や特徴について学ぶ講座を企画し、かもあおさ笑楽校イベントとのジョイントで計2回開催した。

### ①海の生物学 ～さばいて知ろう 地元の魚～

実施日 平成23年9月18日(日)

参加者数 8名

前日に水揚げされたアオやノドグロ、サザエ、ホヤを観察材料に、それぞれの体の特徴や調理法等について、実際に魚を捌きながら解説した。観察の後には、捌いた魚で刺身やざっぱ汁等を調理し、参加者全員で味わった。



### ②海の生物学 ～食べて学べる 学期ファイナル学芸会～

実施日 平成23年10月16日(日)

参加者数 約100名

かもあおさ笑楽校学期ファイナル学芸会と同時に開催した。会場でざっぱ汁やちゃんちゃん焼きとして振る舞われた鮭を題材に、「鮭にもいろいろある」と題してレクチャーを行った。

会場を訪れた約100名の参加者たちは、鮭の種類や生態についての説明に熱心に耳を傾けていた。



## (3) 美郷町・秋田大学連携事業 第4回水の郷シンポジウム

実施日 平成23年10月29日(土)

会 場 美郷町公民館

担当講師 秋田大学客員教授 西木正明

参加者数 250名



地域文化や産業など、生活に不可欠な「水」への関心を高め、水環境保全への取り組みへつなげることを目的に開催。その中で、西木正明客員教授が「水の上の人生」と題して基調講演を行った。講演では、世界中を巡って見聞きしてきた水とその周辺に生きる人々の生活を紹介。水と人間の関わりから環境問題についても触れ、参加者は熱心に聞き入っていた。



#### (4) 3大学連携 in 能代 (秋田県立大学、国際教養大学との連携事業)

実施日 平成23年11月5日(土)

会場 能代市中央公民館、能代市働く婦人の家

主催 秋田大学、秋田県立大学、国際教養大学

共催 能代市

平成21年度に秋田県立大学、国際教養大学と連携協定を締結したことをきっかけに「三大学連携事業」として実施している。3大学が連携して大学の研究内容を紹介し、大学に対する市民の理解を深めること及び地域社会への貢献を目的としている。今回で3回目を数え、留学生との異文化交流事業、各大学の講師による高大連携事業、市民講演会が行われ、多くの市民の参加があった。



I 異文化交流事業「留学生と各国料理を作ろう」 参加者数 23名

II 高大連携事業 参加者数 96名

①「国際化と人の自由移動—私たちがいま考えておくべきこと」

担当講師 国際教養大学国際教養学部 助教 秋葉丈志

②「地球の環境変化と森林の役割」

担当講師 秋田県立大学木材高度加工研究所 教授 高田克彦

③「高齢者に優しい地域づくり—社会政策と地域活動計画のあいだ—」

担当講師 地域創生センター 教授 松岡昌則

III 市民講演会 参加者数 128名

①「東日本大震災 木材瓦礫の発生とその処理問題」

担当講師 秋田県立大学木材高度加工研究所 准教授 山内秀文

②「秋田県で発生した被害地震と東日本大震災後の防災」

担当講師 地域創生センター 准教授 水田敏彦

③「文化国家フランス：絶対王政期から今日まで」

担当講師 国際教養大学国際教養学部基盤教育 助教 阿部邦子

#### (5) 秋田大学と潟上市との連携協定締結式

実施日 平成24年2月17日(金)

会場 潟上市昭和庁舎大会議室

地域社会の発展に寄与することを目的に潟上市と連携協定を締結した。大学が有する知的・人的資源を投入し、地域づくり活動への協力、防災・減災計画づくりへのアドバイスなど地域の課題について協働で取り組むことを確認した。



#### (6) 子ども科学教室「火山はどうやってできるのかな? —みんなでカラフル火山を作ろう!—」



実施日 平成24年2月20日(月)

会場 大仙市立南楯岡小学校

担当講師 秋田大学教育文化学部自然環境講座  
教授 林信太郎

参加者数 4年生～6年生77名

平成24年度から統合する大仙市立南楯岡小学校と南外西小学校の統合閉校記念事業として、楽しい実験を通して学校を越えて交流を深めること、火山や噴火の仕組みについて理解を深めることを目的に開催した。実験では、溶岩に見立てた歯科印象材を紙粘土で作った火山から噴火させ、溶岩の流れ方や噴火を重ねて火山が大きくなる様子を観察した。終了後には「火山の仕組みがよくわかった」「実際に見る機会がないので勉強になった」などの感想が聞かれ、火山について理解を深める機会となったようだった。

#### (7) 秋田大学子ども科学教室 in 八峰町

「海の生物学 ～ハタハタを見て、解剖して、食べて、知ろう～」



実施日 平成24年3月4日(日)

会場 峰浜地区文化交流センター「峰栄館」

担当講師 秋田大学教育文化学部自然環境講座  
准教授 石井照久

参加者数 25名(子ども22名、保護者3名)

馴染み深い身近な魚・ハタハタの生態や特徴について、講義と解剖を通して生態や特徴を学ぶことを目的に開催した。実際にハタハタを捌いて、口の構造やひれ、水晶体の大きさ、脳などを観察した後は、自分で捌いた魚を調理して試食した。参加した児童は「体の仕組みがよくわかった」「自分で捌いたハタハタはおいしかった」と満足げな様子だった。

## 1. 5 地域アカデミー

実施日 平成23年10月18日(火)～10月21日(金)

主催 秋田大学

後援 秋田県、秋田市、仙北市、(社)秋田県観光連盟、(財)秋田観光コンベンション協会

平成20年度から継続して実施している事業だが、平成23年度は申込者僅少により最少催行人数に至らなかったため、全日程の開講を中止とした。

## 1. 6 大学訪問

### (1) 三種町立山本中学校

実施日 平成23年5月9日(月)

会場 教育文化学部3号館、附属図書館本館

担当 秋田大学教育文化学部教科教育講座

准教授 成田雅樹

図書館・情報推進課

人数 2名(2年生)

進路学習の一環として、国語科教員へインタビューをするため来学した。学校教育課程での授業内容や教員採用試験などについて熱心に質問していた。学校教員を目指す生徒にとって、自分の将来を考える上で参考になったようである。その後、講義室や図書館を見学し、学生生活や学校の規模など、中学校との違いを実感したようだった。



### (2) 北秋田市立鷹巣中学校



実施日 平成23年5月10日(火)

会場 学生支援棟ミーティングルーム

担当 秋田大学地域創生センター

副センター長 松岡昌則

人数 3名(2年生)

総合的な学習の時間の一環として、自分たちの将来を考えるため、大学についての理解を深めることを目的に来学した。大学の概要や卒業後の進路等について説明を受けた後、手形キャンパス内を実際に見学し、大学の雰囲気を感じとることができたようだった。

### (3) 放送大学秋田学習センター 歴史・民族・文化を学ぶ会



実施日 平成23年5月10日(火)  
会場 インフォメーションセンター、附属図書館本館  
教育文化学部3号館天体観測室、手形学生食堂  
担当 企画広報課インフォメーションセンター担当  
図書館・情報推進課  
秋田大学教育文化学部技術部  
技術専門員 毛利春治  
人数 9名

今年度リニューアルされたインフォメーションセンター、附属図書館と天文台を見学し、設備やサービスについて説明を受けた。新しい施設や利用サービスに興味津々の様子で、見学終了後には今後の生涯学習活動でも活用していきたいと話合っていた。

### (4) にかほ市立仁賀保中学校

実施日 平成23年5月11日(水)  
会場 教育文化学部4号館  
学生支援棟ミーティングルーム  
担当 秋田大学教育文化学部教科教育講座  
准教授 川村教一  
客員教授 石橋研一



秋田大学大学院教育学研究科教科教育専攻 保坂学  
秋田大学大学院工学資源学研究科材料工学専攻 教授 菅原茂夫

人数 6名(2年生)

職場見学の一環として、仕事の内容ややりがいについて教員へインタビューし、大学への理解を深めるため来学した。教員へのインタビューでは生徒たちは、事前に準備してきた質問を中心に熱心に話を聞いていた。授業見学や施設見学では、学生の様子や施設など中学校との違いを実感し、大学生活への憧れを強めたようだった。

### (5) 能代市立二ツ井中学校



実施日 平成23年5月17日(火)  
会場 学生支援棟ミーティングルーム  
教育文化学部1号館、附属図書館本館  
担当 秋田大学教育文化学部生活者化学講座  
准教授 池本敦  
図書館情報推進課  
人数 7名(2年生)

総合的な学習の一環として「公共施設の工夫について」の調査活動のため訪問した。まず、職員から大学と中学校との違いや見学する教室、研究室、図書館



についてそれぞれどのような特徴があるか説明を受けた。その後の施設見学では、利用者や用途の違いにより、様々な工夫がなされていることを実感したようだった。

#### (6) 大館市立比内中学校

実施日 平成23年5月18日(水)  
会場 学生支援棟フリースペース  
担当 秋田大学教育推進総合センター  
准教授 細川和仁

人数 3名(2年生)

総合的な学習の一環で教員養成について大学教員にインタビューするため来学した。生徒たちは、教師になるにはどうすればよいかなど質問し、メモをとりながら熱心に話を聞いていた。学内見学では教室やピアノ練習室を見学し、大学での授業の雰囲気を感じ取ることができたようだった。



#### (7) 大館市立田代中学校

実施日 平成23年5月25日(水)  
会場 教育文化学部5号館、臨床心理相談室  
担当 秋田大学教育文化学部心理学講座  
教授 高田知恵子

人数 2名(2年生)

職場体験学習の一環として、カウンセラーの仕事について調査するため来学した。臨床心理学の教員へのインタビューと臨床心理相談室の見学を行った。生徒たちは、臨床心理士の仕事について説明を受けた後、仕事をする上での心構えやカウンセリングの方法などについて積極的に質問していた。臨床心理相談室の見学では、部屋の作りにも様々な配慮がなされていることを聞き、細やかな気配りが必要だと言うことを実感したようだった。



#### (8) 北秋田市立阿仁中学校



実施日 平成23年5月27日(金)  
会場 学生支援棟ミーティングルーム、附属図書館  
大学会館  
担当 秋田大学地域創生センター  
副センター長 松岡昌則  
人数 6名(2年生)

総合的な学習の時間での進路学習の一環で大学を訪問した後、キャンパス内を実際に歩きながら見学した。図書館や大学会館の見学では、施設の利用の仕方や学生生活についての質問をし、大学生活についての理解を深めていた。

(9) 秋田市立城南中学校

実施日 平成23年6月29日(水)  
会場 学生支援棟ミーティングルーム  
附属図書館本館  
担当 秋田大学地域創生センター  
副センター長 松岡昌則  
図書館・情報推進課  
人数 4名(2年生)



上級学校訪問の一環として訪問した。教員から、学部や教職員の数など概要の説明を受けた後、生徒たちは、大学での授業や卒業後の進路などについて質問していた。その後の施設見学では、附属図書館や講義室を見学し、大学の雰囲気を感じることができたようだった。

(10) 大仙市立大曲中学校



実施日 平成23年6月30日(木)  
会場 医学部保健学科棟、  
教育文化学部60周年記念ホール、手形学生食堂  
担当 秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻  
基礎看護学講座 准教授 長谷部真木子  
理学療法学講座 助教 齊藤明  
作業療法学講座 教授 石井良和  
地域創生センター 副センター長 松岡昌則

人数 56名(3年生)

進路学習のための上級学校訪問として大学を訪問した。保健学科見学では、各講座の説明を受けた後、実習室を見学した。簡単にできる療法を試すなどして理解を深めていた。手形キャンパスに移動し、昼食をとった後には、大学の概要説明と学生から大学生活について話を聞いた。訪問を通して、生徒たちは大学生活のイメージをつかむことができたようだった。

(11) 秋田県立大館鳳鳴高等学校



実施日 平成23年7月5日(火)  
会場 インフォメーションセンター、教育文化学部3号館  
担当 秋田大学大学院工学資源学研究科機械工学専攻  
准教授 山本良之

人数 4名(2年生)

大館鳳鳴高等学校で実施しているスーパーサイエンスハイスクール事業の一環として、課題研究授業の調査活動のため訪問した。調査テーマの「ガウス加速器」について学習するため、物理学が専門の教員から話を聞いた。生徒たちは、自作のガウス加速器を持参し、疑問点を教員に質問するなどして理解を深めていた。

#### (12) 男鹿市立男鹿東中学校

実施日 平成23年7月5日(火)～7月6日(水)

会場 教育文化学部2号館、本部管理棟

担当 秋田大学教育文化学部音楽教育講座

准教授 佐川馨

教授 四反田素幸

地域創生課

人数 2名(年生)

総合的な学習の時間の一環として、将来の仕事について考えるため職場体験を行った。音楽分野の職業に興味のある生徒で、大学の音楽教員の仕事について知るため、教員へのインタビューや授業見学を行った。また、音楽を題材にした公開講座の広報資料作成も体験し、生徒たちは自分自身の進路への思いを新たにしていた。



#### (13) 秋田市立勝平中学校



実施日 平成23年7月7日(木)

会場 教育文化学部1号館

担当 秋田大学教育文化学部生活者化学講座

食生活研究室ゼミ4年次 4名

人数 1名(3年生)

総合的な学習の一環として「秋田の伝統食を広めるには」というテーマの調査活動のため訪問した。秋田大学オフィシャルいぶりがっこ製造プロジェクトの活動について調査するため、プロジェクトに携わっている学生たちに話を聞いた。メモをとりながら熱心に話を聞いており、調査のまとめに役立てることができたようだった。

#### (14) 秋田市立御所野学院中学校



実施日 平成23年7月19日(火)

会場 教育文化学部4号館、VBL大セミナー室

教育文化学部3号館天体観測室、手形学生食堂

担当 秋田大学教育文化学部自然環境講座

教授 林信太郎

教育文化学部技術部 技術専門員 毛利春治

人数 41名(3年生)

進路学習のための上級学校訪問として大学を訪問した。将来、自分たちが進学する大学について理解を深めるため、模擬授業や施設見学などを行った。模擬授業では、身近な材料でできる実験を通し、中学校と大学での学習内容のつながりを確認した。生徒たちにとって進路を考える機会となったようである。



#### (15) 美郷町立仙南中学校



実施日 平成23年7月20日(水)  
会場 工学資源学部3号館  
教育文化学部60周年記念ホール  
担当 秋田大学大学院工学資源学研究科材料工学専攻  
教授 田口正美  
秋田大学地域創生センター  
副センター長 松岡昌則  
人数 29名(3年生)

総合的な学習の時間でのキャリア教育の一環として大学を訪問した。まず、材料工学科の学科説明を受けた後、研究室や電子顕微鏡など、普段は見ることができない実験施設を見学した。その後の大学全体の概要説明では、学部の説明や学生生活についての話を聞き、大学全体に対する理解を深めていた。

#### (16) 港北小学校新町子ども会



実施日 平成23年8月9日(火)  
会場 インフォメーションセンター、附属図書館本館  
教育文化学部3号館天体観測室、手形学生食堂  
担当 企画広報課インフォメーションセンター担当  
教育文化学部技術部 技術専門員 毛利春治  
図書館・情報推進課  
人数 15名

夏休みの子ども会企画の一環として、大学の施設見学のため訪問した。施設の説明を受けながらインフォメーションセンター、天文台、附属図書館を見学した。見学終了後は、学生食堂で昼食をとり、思い思いメニューを選び、味わいながら大学の雰囲気を楽しんだようだった。

#### (17) 八峰町立八森中学校



実施日 平成23年10月6日(木)  
会場 本部管理棟1階地域創生課  
担当 地域創生課  
人数 3名(2年生)

職場体験学習の一環として、地域創生課の業務体験を行った。秋田大学の概要や地域創生課の業務内容について説明を受けたあと、公開講座のポスター作成を体験した。生徒たちは、ポスター作りのポイントに留意しながら、デザインを工夫して作業に取り組んでいた。また、仕事で大変なこと、やりがいなど積極的に質問し、自らの将来への思いを新たにしていた。

### (18) 仙北市立生保内中学校

実施日 平成23年10月25日(火)  
会場 工学資源学部1号館, 附属鉱業博物館  
担当 地域創生センター  
副センター長 松岡昌則  
人数 67名(2年生)

進路学習の一環として大学を訪問した。大学の学科や卒業後の進路、大学で学ぶことの意義について説明を受けた後、鉱業博物館を見学した。パソコンを使った展示や実際に触れることのできる資料は、実際に手にとって観察したり、操作するなどして理解を深めていた。



### (19) 秋田県立横手清陵学院中学校



実施日 平成23年11月18日(金)  
会場 教育文化学部3号館145講義室、手形学生食堂  
一般教育棟2号館203講義室、附属鉱業博物館  
担当 秋田大学地域創生センター  
副センター長 松岡昌則  
教育文化学部国際コミュニケーション講座  
准教授 三宅良美  
人数 77名(2年生)

上級学校についての理解を深め、学ぶことの意義や自分の進路について考えることを目的に来学した。生徒たちは、大学についての説明や講話、研究室訪問や模擬授業を体験し、大学についての理解を深めた。研究室訪問では、教育文化学部と工学資源学部の計8つの研究室を訪問し、研究室見学や勉強・学校生活などについて学生から話を聞いた。訪問を通して、生徒たちは大学生活のイメージをつかむことができたようだった。

### (20) 北秋田市グッドライフ講座



実施日 平成23年12月20日(火)  
会場 手形キャンパス  
担当 企画広報課インフォメーションセンター担当  
図書館・情報推進課、地域創生課  
人数 26名

講座の一環として北秋田分校の本校である秋田大学見学のために来学した。午前と午後の2班に分かれ、インフォメーションセンター、学生支援棟、附属図書館の見学とキャンパスガイドマップの「偉人コース」巡りを行った。寒さ厳しい中での見学となったが、学内の様々な植物や名所に興味を持った様子で「花が咲く季節にまた訪問したい」「次は天文台も見学したい」と感想を話し合っていた。

## 1. 7 地域創生センター主催

### (1) 秋田大学子ども見学デー～大学ってどんなところ？家族といっしょに大学生！～

実施日 平成23年8月23日(火)

会場 秋田大学

参加者数

- コース
- ・教育文化学部(2コース)
  - ・医学部(2コース)
  - ・工学資源学部(3コース)
  - ・総合情報処理センターコース
  - ・附属図書館コース



小・中学生とその保護者を対象として、大学の見学や体験を通して、大学に対する関心を深めてもらうことを目的として開催した。平成16年度から継続実施しており、本年度は88家族218名が参加した。参加者は、当日のスケジュールや秋田大学の概要についての説明を受けた後、学長室で吉村昇学長と記念撮影を行った。その後、9つの見学コースに分かれて体験学習を実施。参加者は、葉っぱの標本作りや病院見学、身近な化学反応をテーマにした科学実験などを楽しんだ。コース終了後には、学長室で撮影した記念写真が配付され、夏休み最後の記念となったようだった。また、新たな試みとして、大学食堂で利用できるデザート無料引換券も配付され、好評を得た。

### (2) 秋田大学特別講演会「法医学と社会の接点」

実施日 平成24年2月13日(月)

会場 秋田大学60周年記念ホール

担当講師 警視庁科学警察研究所 所長 福島弘文

参加者数

一見私たちの生活には関係がないように見えても、犯罪捜査や身元確認などで社会に大きく貢献している「法医学」について理解を深めてもらう目的で開催した。講演では、映像資料や写真を使用し、法医学がどのような学問であるか、また科学警察研究所の役割などについて、分かりやすく解説した。科学警察研究所や科学捜査研究所の実際の仕事内容について、自身の経験を踏まえた説明に、参加者は熱心に聞き入っていた。



## 1. 8 他部局主催（年度計画推進経費による）

### （1）秋田大学天文イベント

実施日 平成23年4月2日（土）～平成24年3月3日（土）

会場 秋田大学教育文化学部天文台

一般市民や中高生を対象として、天文台に親しみ活用してもらうことを目的に開催。45cm大型反射望遠鏡「ミルエル」での天体観測の他、星空案内人資格認定講座や天文講演会などを実施し、多くの市民が参加した。

	実施日	内 容	担当講師
①	平成23年 4月2日（土）	イベント①星空案内人資格認定講座 「第7回 星空案内の実際」	秋田大学教育文化学部 技術専門員 毛利春治
		イベント②市民のための夜間天体観察会 「土星、M44かに座プレセペ星団の観察」	
②	5月7日（土）	イベント①天文講演会 「身近な天文現象について」	秋田大学教育文化学部 技術専門員 毛利春治
		イベント②市民のための夜間天体観察会 「月・土星、M53球状星団の観察」	
③	6月4日（土）	イベント①天文講演会 「天文学研究の最前線、学会参加報告」	秋田大学教育文化学部 技術専門員 毛利春治
		イベント②市民のための夜間天体観察会 「土星、M51子持ち銀河の観察」	
④	7月2日（土）	イベント①天文講演会 「最新の天文学について」	秋田大学教育文化学部 環境情報講座 教授 上田晴彦
		イベント②市民のための夜間天体観察会 「土星、M5球状星団の観察」	
⑤	8月6日（土）	イベント①天文講演会 「流れ星のひみつ」	秋田大学教育文化学部 教科教育学講座 准教授 川村教一
		イベント②市民のための夜間天体観察会 「月と土星、M13球状星団の観察」	
⑥	9月4日（土）	イベント①天文講演会 「月の歴史について」	秋田大学教育文化学部 自然環境講座 教授 林信太郎
		イベント②市民のための夜間天体観察会 「月と土星、M57リング星雲の観察」	
⑦	10月1日（土）	イベント①天文講演会 「誰でもできる天体写真」	秋田大学教育文化学部 技術長 成田堅悦
		イベント②市民のための夜間天体観察会 「月とM11散開星団の観察」	



⑧	11月5日(土)	イベント②市民のための夜間天体観察会 「月と土星、M57リング星雲の観察」	
		イベント②市民のための夜間天体観察会 「月、木星、みずがめ座M2球状星団の観察」	
⑨	12月3日(土)	イベント①星空案内人資格認定講座 「第1回 さあ、はじめよう」 「第2回 星の文化に親しむ」	秋田大学教育文化学部 環境情報講座 教授 上田晴彦 教科教育学講座 准教授 川村教一
		イベント②市民のための夜間天体観察会 「月、木星、M31アンドロメダ大銀河の観察」	
⑩	平成24年 1月7日(土)	イベント①星空案内人資格認定講座 「第3回 宇宙はどんな世界」 「第4回 望遠鏡のしくみ」	秋田大学教育文化学部 環境情報講座 教授 上田晴彦 技術専門員 毛利春治
		イベント②市民のための夜間天体観察会 「木星、月、ペルセウス座二重星団h- $\alpha$ の観察」	
⑪	2月4日(土)	イベント①星空案内人資格認定講座 「第5回 星座を見つけよう」 「第6回 望遠鏡をつかってみよう」	秋田大学教育文化学部 技術長 成田堅悦 技術専門員 毛利春治
		イベント②市民のための夜間天体観察会 「月、金星、木星、M45プレアデス星団(すばる)の観察」	
⑫	3月3日(土)	イベント①星空案内人資格認定講座 「第7回 星空案内の実際」	秋田大学教育文化学部 技術専門員 毛利春治
		イベント②市民のための夜間天体観察会 「月、水星、金星、火星、木星とM42オリオン大星雲の観察」	

## (2) 秋大憩いのコンサート

開催期間 平成23年4月23日(土)～平成24年3月19日(土)

計12回

会場 秋田大学インフォメーションセンター

平成22年4月に手形キャンパスに開設したインフォメーションセンターを広く知ってもらい、社会貢献に活用するために開催した。全12回に渡って、本学教員や学生、卒業生等が出演し、好評を得た。



	実施日	内 容
第7回	平成23年 4月23日(土)	春爛漫～ソプラノの調べ 演奏：教育文化学部音楽教育講座 准教授 斎藤洋(ピアノ) 菅原久美子、櫻庭優佳(以上ソプラノ)、
第8回	5月28日(土)	サロンの気分で～珠玉のピアノ小品 演奏：教育文化学部音楽教育講座 准教授 斎藤洋(ピアノ)
第9回	6月19日(日)	チェロで聴く愛の名曲～クラシックも映画音楽も 演奏：教育文化学部音楽教育講座 准教授 斎藤洋(ピアノ) 非常勤講師 藤原ケイ子(チェロ)
第10回	7月24日(日)	なつかしい歌 メロディーの流れ 演奏：教育文化学部音楽教育講座 准教授 爲我井壽一(テノール) 西川香(ピアノ)
第11回	8月20日(土)	夏の午後～クラリネットの音色とともに 演奏：教育文化学部音楽教育講座 准教授 斎藤洋(ピアノ) 非常勤講師 安藤満里(クラリネット)
第12回	9月25日(日)	シューベルティアード～楽しい音楽仲間集い 演奏：教育文化学部音楽教育講座 准教授 斎藤洋(ピアノ) 准教授 爲我井壽一(テノール) 非常勤講師 安藤満里(クラリネット) 富樫彩子(ピアノ)、小野真弓(ソプラノ)
第13回	10月30日(日)	シューマニアーナ 演奏：教育文化学部音楽教育講座 准教授 爲我井壽一(テノール) 佐藤和穂(ピアノ)
第14回	11月27日(日)	カフェの気分で 演奏：教育文化学部音楽教育講座 准教授 斎藤洋(ピアノ)
第15回	12月25日(土)	クリスマス・コンサート 演奏：音楽教育講座2年生 (ピアノ、クラリネット、サクソ、コントラバス、合唱)
第16回	1月30日(日)	イタリア歌曲の楽しみ 演奏：教育文化学部音楽教育講座 准教授 爲我井壽一(テノール) 西川香(ピアノ)
第17回	2月19日(日)	ケニアン・ファンタジー 演奏：教育文化学部音楽教育講座 准教授 斎藤洋(ピアノ連弾) 富樫彩子(ピアノ連弾)、加賀谷田鶴子(打楽器)
第18回	3月19日(土)	誘惑のマンドリン 演奏：教育文化学部音楽教育講座 准教授 斎藤洋(ピアノ) 平丈恵(マンドリン)

### (3) 子どもものづくり教室

子どもたちを対象に、ものづくりを通して科学や宇宙へ興味を持ってもらうことを目的に平成21年度から実施している。今年度は10回に渡って開催した。参加者は、身近なものを使った作品づくりを通して、ものづくりの楽しさを実感した様子だった。

#### ①第1回「ソーラークッカー制作」

実施日 平成23年5月21日(土)

会場 ものづくり創造工学センター創造組み立て作業室

担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター  
センター長・教授 神谷 修  
副センター長・助教 和田 豊

秋田大学大学院工学資源学研究科地球資源学専攻 助教 網田和宏

秋田大学大学院工学資源学研究科環境物質工学専攻 准教授 進藤隆世志  
技術職員 加藤隆一

技術系補佐員 齊藤亜由子

自然エネルギーである太陽光の活用法とその大切さについて学ぶことを目的として開催した。今回は、日用品で製作ができる「ソーラークッカー」製作に取り組んだ。参加者は、まず太陽光を熱エネルギーに変える仕組みや太陽光を調理器具に取り入れる保温システムについて学習。その後の作業では、親子や参加者同士で協力しながら取り組んでいた。

#### ②第2回「水ロケット制作」

実施日 平成23年6月26日(日)

会場 ものづくり創造工学センター創造組み立て作業室

担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター  
センター長・教授 神谷修  
副センター長・助教 和田豊

秋田大学大学院工学資源学研究科地球資源学専攻 助教 網田和宏  
技術職員 加藤隆一

技術系補助員 齊藤亜由子

大学生TA 5名

モデルロケット作りに挑戦することで科学への関心を向上させ、ものづくりの楽しさを体験してもらうことを目的として行った。身近な材料であるペットボトルを利用し、思い思いのデザインのモデルロケットを作成。完成したロケットを実際に打ち上げて出来映えを確認した。

#### ③第3回「風に向かって走る車！ウィンドカー制作」

実施日 平成23年7月18日(月)

会場 ものづくり創造工学センター創造組み立て作業室

担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター  
センター長・教授 神谷修  
副センター長・助教 和田豊  
秋田大学大学院工学資源学研究科地球資源学専攻 助教 網田和宏  
秋田大学大学院工学資源学研究科環境物質工学専攻 准教授 進藤隆世志  
技術職員 加藤隆一  
技術系補助員 齊藤亜由子

風の力を利用して風に向かってまっすぐ走る車の原理を学ぶことを目的に開催した。作業では、組み立てられた風車をイメージしながら色塗りや組み立てに取り組んだ。製作後は送風機を利用して試走し、タイム計測を行った。うまく走らなかった場合にはなぜ失敗したのか考え、修理をして何度も試走に挑戦する姿が見られ、「ものづくり」の名前にふさわしい教室となった。

#### ④第4回「天体望遠鏡制作」

実施日 平成23年9月23日（金）  
会場 ものづくり創造工学センター創造組み立て作業室  
担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター  
センター長・教授 神谷修  
副センター長・助教 和田豊  
秋田大学大学院工学資源学研究科機械工学専攻 准教授 長谷川裕晃  
秋田大学大学院工学資源学研究科電気電子工学専攻 准教授 水戸部一孝  
技術職員 加藤隆一  
技術系補助員 齊藤亜由子

天体望遠鏡で星が観察できる仕組みを学ぶことを目的に開催した。まず、参加者たちは、天体望遠鏡の仕組みと天体望遠鏡の種類について説明を受けた後、実際の作業に取りかかった。手作りの望遠鏡が出来上がると、いろいろなものにピントを合わせて楽しみながら望遠鏡の使い方を学んだ。

#### ⑤第5回「モデルロケット制作」

実施日 平成23年10月23日（日）  
会場 ものづくり創造工学センター創造組み立て作業室  
担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター  
副センター長・助教 和田豊  
秋田大学大学院工学資源学研究科土木環境工学専攻 教授 及川洋  
秋田大学大学院工学資源学研究科環境資源学研究センター 准教授 吉村哲  
YAC 秋田分団 分団長 土岐仁  
技術職員 加藤隆一  
技術系補助員 齊藤亜由子

モデルロケットを製作し、それを打上げることでロケットの仕組みを学ぶことを目的に開催した。参加者は、ロケットをまっすぐ打上げるための部品取り付けや色塗りなど、試行錯誤しながら取り組んだ。打ち上げではほぼ真上に上がり、予想以上に高く飛んでいくモデルロケットを見た参加者からは喜びの歓声が上がっていた。

#### ⑥第6回「クリスマスリース制作」

実施日 平成23年11月23日（水）

会場 ものづくり創造工学センター創造組み立て作業室

担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター

センター長・教授 神谷修

副センター長・助教 和田豊

秋田大学大学院工学資源学研究科地球資源学専攻 助教 網田和宏

秋田大学大学院工学資源学研究科環境物質工学専攻 准教授 進藤隆世志

技術職員 加藤隆一

技術系補助員 齊藤亜由子

クリスマスリース製作を通し、デザインを楽しみながらLEDの光る仕組みや回路について学ぶことを目的に開催した。リースの土台作りだけでなくLEDの回路制作にも取り組み、LEDの極性に注意しながら一生懸命作業に取り組む姿が見られた。

#### ⑦第7回「ぐにゃぐにゃ凧（スレッドカイト）制作」

実施日 平成23年11月23日（水）

会場 ものづくり創造工学センター創造組み立て作業室

担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター

センター長・教授 神谷修

副センター長・助教 和田豊

技術職員 加藤隆一

揚力・抗力・張力など凧があがる仕組みについて理解を深めることを目的に開催した。制作作業では、設計図面どおり正確に製作するため、各々工夫を凝らして作業に取り組んでいた。完成した本体には自由にイラストを描き、オリジナル凧の完成となった。

#### ⑧第8回「万華鏡制作」

実施日 平成24年1月22日（日）

会場 ものづくり創造工学センター創造組み立て作業室

担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター

センター長・教授 神谷修

副センター長・助教 和田豊

秋田大学大学院工学資源学研究科情報工学専攻 助教 藤原克哉

秋田大学大学院工学資源学研究科附属環境資源学研究センター 准教授 吉村 哲

技術職員 加藤隆一

技術系補助員 齊藤亜由子

万華鏡づくりを通して光の反射を学習し、鏡が作り出す鏡像の仕組みを理解することで自然科学への関心を高めることを目的に開催した。作業では、本体の作成や中に入れるビーズ選びなど楽しみながら取り組んだ。参加者は、完成した万華鏡をのぞき込みながら、ビーズと鏡の反射が作る様々に変化する模様感動していた。

#### ⑨第9回「電子オルゴール制作」

実施日 平成24年2月26日（日）

会場 ものづくり創造工学センター創造組み立て作業室

担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター

センター長・教授 神谷修

副センター長・助教 和田豊

秋田大学大学院工学資源学研究科材料工学専攻 准教授 魯小葉

秋田大学大学院工学資源学研究科土木環境工学専攻 教授 及川洋

技術職員 加藤隆一

技術系補助員 齊藤亜由子

電子オルゴールづくりを通してマイコンの仕組みを学習し、実際にプログラミングを体験することで電子回路への関心を向上させることを目的に開催した。参加者は、電子オルゴールの製作には、好きな曲を楽譜におこすプログラミング、電子オルゴールの回路製作、馬型の本体製作の3つの作業に取り組み、苦戦しながらも楽しんで作業する姿が見られた。

#### ⑩第10回「空気電池制作」

実施日 平成24年3月25日（日）

会場 ものづくり創造工学センター創造組み立て作業室

担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター

センター長・教授 神谷修

副センター長・助教 和田豊

秋田大学大学院工学資源学研究科電気電子工学専攻 准教授 水戸部一孝

技術職員 加藤隆一

技術系補助員 齊藤亜由子

果物や野菜を使ったボルタ電池の実験を通して、ボルタ電池と空気電池それぞれの簡単な仕組みを理解し、自然科学への関心を向上させることを目的に開催した。作業では、電池の仕組みを学習した上で、炭とアルミを使ってLEDを点灯させる空気電池の制作に取り組んだ。炭の個体差により発電がうまくいかないケースも見られたが、最終的には参加者全員が空気電池でLEDを光らせることに成功した。

#### (4) モデルロケット教室

9月27日(火) ニツ井小学校能代市内の小学校6年生を対象として、ものづくりを通して科学や宇宙へ興味を持ってもらうことを目的にモデルロケット製作打上教室を開催した。事前指導として、能代市の小学校6年生の担任等を対象にモデルロケット製作・打上げ研修会を実施した。各学校で研修会に参加した教諭が講師となって6月～9月間に能代市内の6年生全員約500名がモデルロケットを製作し、打上日を学校ごとに定め、再度ものづくり創造工学センター指導の元、打上実験を実施した。

実施期間 平成24年5月24日(火)～平成24年9月27日(火)

担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター

副センター長・助教 和田豊

技術職員 加藤隆一

技術系補助員 齊藤亜由子

開催時期・場所

- 5月24日(火) 第五小学校
- 6月28日(火) 崇徳小学校
- 6月29日(水) 湊城西小学校
- 7月6日(水) 浅内小学校
- 7月15日(金) 向能代小学校
- 7月25日(月) 湊城南小学校
- 8月23日(火) 第四小学校
- 8月30日(火) 第五小学校



#### (5) 秋田メディカル・サイエンスカフェ

平成19年度から行われている事業で、医学部の最新の医学研究成果を、一般市民にわかりやすく伝えることをねらいとして開催している。医学部教員が講師となって研究成果の説明を行い、大学院生等をファシリテーターとして参加者付近に配置、自由に討議を行った。講義のあとは、参加者と医学部教員が飲物を楽しみながら自由に意見交換をし、くつろいだ雰囲気の中で医学知識に触れてもらうことを目的とした。サイエンスカフェ・マスターは秋田大学大学院医学系研究科長・本橋豊教授が務めた。

##### ①第13回「なくなる命のながれ：産婦人科の仕事」

実施日 平成23年6月11日(土)

会場 秋田拠点センター・アルヴェ きらめき広場

担当講師 秋田大学大学院医学系研究科医学専攻

産婦人科学講座 教授 寺田幸弘

出産だけでなく、不妊症学、周産期医学、女性医学そして婦人科腫瘍学などの仕事を通して、女性が健全で楽しく生きてゆくための手助けをする「産婦人科の仕事」について紹介した。質疑応答の際には、講師に向けた秋田市民・秋田県民を代表したエールも飛び出すなど、大いに盛り上がった。



## ②第14回「解剖学実習と献体」

実施日 平成23年9月4日（日）

会場 秋田拠点センター・アルヴェ きらめき広場

担当講師 秋田大学大学院医学系研究科医学専攻

形態解析学・器官構造学講座 教授 阿部寛

普段接する機会が少ない「解剖学実習」や「献体」というテーマについて、医学の専門知識のない方にもわかりやすく解説した。馴染みのないテーマにもかかわらず、100名近くの参加者が来場し、講師のわかりやすい解説に真剣に聞き入っていた。

## ③第15回「新しい戦略による小児疾患の予防と治療」

実施日 平成23年12月3日（土）

会場 秋田拠点センター・アルヴェ きらめき広場

担当講師 秋田大学大学院医学系研究科医学専攻

小児科学講座 教授 高橋勉

細胞学や遺伝子工学の進歩による治療の難しい小児疾患の新たな治療法について解説した。講演後にはテーブルごとの意見交換が行われ、その後の質疑応答では、質問に対する講師の分かりやすい回答に、参加者は納得の表情を浮かべていた。

## （6）小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル特別展示への出展



実施日 平成23年7月2日（土）

～平成23年7月3日（日）

会場 能代市総合体育館

担当講師 工学資源学研究科環境応用化学専攻

中田研究室

秋田大学非常勤講師 野村正幸

技術部 技術専門員 山谷孝裕

能代市で開催される小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル特別展示の会場において、参加する小中学生を対象とした科学教室を開催した。当日は「環境にやさしいものづくり」や「宇宙の不思議を学ぼう！」等のテーマで実験や工作を行い、科学的に考えることの大切さやものづくりの楽しさを感じ取る機会になったようだった。

### (7) 古川宇宙飛行士の長期滞在におけるリアルタイム交信イベント

実施日 平成23年7月28日(木)  
会場 秋田大学60周年記念ホール  
担当 秋田大学教育文化学部教科教育学講座  
教授 藤田静作  
准教授 川村教一  
技術職員 山下清次

国際宇宙ステーションとの交信教育イベントを中心として、児童生徒に宇宙について主体的、かつ教科横断的に学ぶ機会を提供することにより、宇宙や宇宙開発についての興味関心を高めることを目的に開催した。当日は、学生によるスライドショーの発表の他、代表質問者20名が古川宇宙飛行士との質疑応答を行った。参加者からは「貴重な体験ができた」「宇宙についてもっと知りたい」といった感想が聞かれ、宇宙への興味を高める機会となったようだった。

### (8) 子どもものづくり教室出前授業「ソーラークッカーを作ろう！」

実施日 平成23年8月8日(月)  
会場 秋田県庁第二庁舎  
担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター  
センター長・教授 神谷修  
技術職員 加藤隆一  
技術系補佐員 齊藤亜由子  
大学生 TA

太陽光を利用して加熱する原理を学び、工作に対する意欲を持って取り組んでもらうことを目的に開催した。参加者は、アルミパネルの台紙の型どりや張り付け作業に真剣な様子で取り組んでいた。最後に、完成したソーラークッカーでゆで卵を調理。加熱した水の温度は80℃まで上がり、ほぼ全員がゆで卵づくりに成功した。

### (9) 第7回能代宇宙イベント

実施日 平成23年8月20日(土)～8月25日(木)  
会場 能代宇宙広場(秋田県浅内第3鉱滓堆積場)  
主催 能代宇宙イベント協議会  
共催 秋田大学、銀河連邦ノシロ共和国、大学宇宙工学コンソーシアム(UNISEC)  
NPO法人 日本モデルロケット協会、「理数が楽しくなる教育」実行委員会

宇宙教育の普及と宇宙開発を支える人的資源を育成することに加え、航空宇宙技術の交流を通じ、地域活性化を目指して開催されている。秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センターが実質的な運営を行っており、地域創生センターも支援を行った。6日間にわたり、ハイブリッドロケットの打上げや水ロケットの競技会などが行われ、県内外から約400人を超える大学生や高校生が参加した。その他にも、宇宙開発と地域振興をテーマに様々な催し物があり、2000名を越す来場者で賑わった。



(10) 親子環境教室～エコ科学実験教室～

実施日 平成23年8月22日(月)

会場 秋田大学工学資源学部4号館132実験室

担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科環境物質工学専攻 中田研究室

秋田大学非常勤講師 野村正幸

環境問題に対する意識向上と科学への興味を引き出すことを目的として開催した。当日は30名の親子連れが参加し、発泡スチロールを使ったスタンプ作りや、二酸化炭素測定など6つの実験や工作を楽しみながら、エコの大切さについて学んだようだった。

(11) 宇宙子どもワークショップ2011 宮古高校モデルロケット教室

実施日 平成23年10月3日(月)

会場 岩手県立宮古高等学校

主催 宇宙子どもワークショップ2011実行委員会

共催 秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター

指導担当 秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター

副センター長・助教 和田豊

技術職員 加藤隆一

技術系補佐員 齊藤亜由子

東日本大震災復興支援プロジェクト「宇宙子どもワークショップ2011」に工学資源学研究科が共催となり、宮古高等学校1～3年生30名を対象としたモデルロケットの製作と打上げを実施した。ロケットの制作作業では、部品の取り付けについて試行錯誤しながら取り組んでいた。日没後に行った打上げでは、夜空に花火があがるように美しく、生徒からは打上げるたびに歓声があがっていた。

(12) 大人のものづくり教室

科学に直接触れ、体験することで大人にも、ものづくりの楽しさを体験してもらうことを目的に、大人を対象としたものづくり教室を開催した。

①第1回 スライドショーを作ろう!

実施日 平成23年11月27日(日)

会場 秋田大学工学資源学部2号館CAD室

担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター

副センター長・助教 和田豊

技術職員 加藤隆一

技術系補佐員 齊藤亜由子

参加者に好みの写真を持ち寄ってもらい、Windowsムービーメーカーでスライドショーを制作。動画投稿サイト「Youtube」へ実際に投稿する一連の流れの講習を行った。1人1人のレベルに合った指導を実施し、参加者は「ぜひ家に帰っても色々な写真で挑戦してみたい」と満足した様子だった。

## ②第2回 3Dで絵を描こう！-3DCAD 初心者体験-

実施日 平成23年3月25日（日）

会場 秋田大学工学資源学部2号館CAD室

担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター  
センター長・教授 神谷修  
技術職員 加藤隆一  
技術系補佐員 齊藤亜由子

3DCADを使うのが初めての方向けに「Auto desk Inventor2011」を使って簡単な3Dのモデル製作を行った。参加者は初めての3DCADに慣れない操作で難しさを感じたようだったが、熱心に作業に取り組んでいた。また、作業終了後には、完成したモデルへあらゆる方向から荷重をかけ、その応力分布について簡単に解説し、3DCADでできる応用機能を紹介した。

## (13) 子ども科学教室「土の化学」

実施日 平成23年12月26日（月）

会場 秋田大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー大セミナー室、工学資源学部4号館

担当講師 秋田大学工学資源学研究科環境物質工学専攻 中田研究室  
技術部 技術専門員 山谷孝裕  
秋田大学非常勤講師 野村正幸

身近にある「土」をテーマに、環境問題に対する意識向上と化学への興味を引き出すことを目的として開催した。参加者はレクチャーや展示のほか、珪藻土を使った実験や土を使った浄水の実験等を体験し、環境や自然との共生について考える機会となったようだった。

## (14) 秋田大学総合技術部 第3回テクノフェスタ



実施日 平成24年1月7日（土）

会場 秋田拠点センター・アルヴェ きらめき広場

秋田大学の教育研究等で利用される専門技術について、地域で広く知ってもらうため、平成21年度から開催している。恐竜発掘体験や4次元デジタルシアターなど13の体験ブースが設置され、多くの家族連れが参加した。また、今年度は新たな試みとしてスタンプラリーを実施し、好評を得た。

## 1. 9 その他

### (1) 産・学・官連携セミナー～地方大学発の話題性のある研究の紹介～

#### 第1回「プロの手指を科学する」

実施日 平成23年5月12日(木)

会場 東京都港区立商工会館

担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科電気電子工学専攻 准教授 水戸部一孝

医学部や地元の高齢者支援施設、企業等と連携しながら行っている、高速・高精度なモーションキャプチャーの技術について紹介した。講演では、外科医やピアニストの「熟練の技」をモーションキャプチャーで解析した結果をアニメーション映像で紹介。伝承が難しい人間の技の継承に、デジタルを活用することが有効な手段である事を解説した。

### (2) 募金活動(平成23年台風12号)

期間 平成23年10月5日(水)～10月28日(金)

募金総額 241,785円(176件)

9月に到来した「台風12号」により特に被害を受けた奈良、三重、和歌山県の支援のため、学内の学生および教職員に対して義援金を募った。集まった義援金については、日本赤十字社秋田県支部へ寄附した。

### (3) 秋田県赤十字血液センターによる献血事業への協力

今年度も引き続き献血事業への協力を行い、年間で11件献血カーの受入を行った。学内への献血カー運行の際等、学生や教職員に対して、献血事業への興味・関心を深め、献血活動へ協力してもらうことを目的とし、学内周知に力を入れた。

### (4) 「秋田大学キャンパスガイドマップ」の作成

秋田大学を地域に開かれた大学にするための活動の一環として平成21年度から作成し、イベント等の際に配布され好評を博した。本年度は陸上競技場や附属図書館等の新施設のほか、樹種プレートの紹介などの改訂を加えた。



## 2. 地域防災部門

## 地域防災部門長挨拶

地域創生センター准教授・地域防災部門長

水田 敏彦

平成23年3月11日に、我が国の観測史上最大であるマグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震が発生しました。死者行方不明者は1万9千人近くにのぼり、建物被害も全壊13万戸という大震災を引き起こしました。世界一整備された地震観測網を用いた解析によると、震源域は幅約200km、長さ約500kmにわたり、最大40mを超える断層のずれが発生したことがわかりました。一方、これらの変動は秋田県内及び秋田県沖の地震活動に影響を及ぼし、内陸部や海側で局所的な地震が増加しています。内陸で発生している地震の位置は、これまでに発生のあまりない場所での地震であり、われわれの知見がまだまだ不十分であることを示したものでした。防災についても、津波のハザードマップによる想定が東日本大震災の津波と大きくかけ離れていたことが明らかになりました。869年貞観地震等、古文書の記録にある津波を考慮し損ねたことが原因です。科学の知見を地域防災に十分に活かされなかったことも反省すべき点です。

秋田大学地域創生センターでは、平成23年9月1日に「地域防災部門」が設置されました。秋田県の特性を考慮した地域防災のあり方について調査・研究し、安全・安心な地域社会の形成に寄与することを目的としています。「防災分野」及び「地震・活断層分野」から構成され、経験豊富な元秋田大学教育文化学部教授の野越三雄さんが地域防災アドバイザーとして加わりました。また、10月1日付けで鎌滝孝信さんが准教授に就任しました。地質学・古地震学を専門としてきたスタッフです。これまで、地層に残された歴史の解析により、過去に発生してきた地震や津波の歴史を明らかにしてきました。われわれのセンターについても、鎌滝さんを中心に秋田県及び日本海側北部地域における地震・津波履歴に関する研究を発展させていこうと考えています。防災分野では、予想される様々な自然災害から住民を守るために、行政や地域との新たな連携を構築しつつあります。平成23年度は、県内各地で講演や出前授業等を開催し、また、秋田県に立脚した地震危険度評価に関する基礎的な研究も開始しています。平成24年度には、基礎研究を担う大学の組織としての役割を持ちながら、地域の減災を意識した防災教育活動がいよいよ進められることとなります。

本報告書は、このような大きな変化の中で進められた平成23年度における防災部門の活動をまとめたものです。忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

## 2. 1. 秋田県の特性を考慮した地域防災のあり方に関する調査研究

### 1) 本県の特性を踏まえた調査・研究

#### (1) 秋田県内各地の活断層調査

担 当 秋田大学地域創生センター地域防災部門 准教授 鎌滝孝信

秋田県内に甚大な被害をもたらすと考えられる「内陸直下型地震」を引き起こす活断層の活動性や分布範囲を明らかにすることを目的とする。平成23年度は、本研究を進める上で他大学の研究者との連携を模索し、連携の可能性のある研究者（東北大学：今泉俊文教授、信州大学：廣内大助准教授ら）と学会等の際に意見交換を行った。

#### (2) 秋田県における誘発地震等の研究

担 当 秋田大学地域創生センター 地域防災アドバイザー 野越三雄

今まで殆ど研究がなされていない誘発地震について、東北地方で最も活発に発生している秋田県についての基礎的研究を行った。一定の研究成果はみられたが、さらに秋田県と太平洋側地震との関連を震源メカニズムなど応力場の考察を導入して誘発地震の更なる知見を得る研究を進める予定である。

#### (3) 秋田県沿岸市町村自治体への津波に関するアンケート予備的調査

担 当 秋田大学地域創生センター 地域防災アドバイザー 野越三雄

東日本大震災の被災は殆ど津波によるものであるが、日本海側の各沿岸自治体として現在どのような施策等をしようとしているのかを知ることは住民にとって極めて重要である。その意味からも沿岸8市町村を対象にしたアンケート調査を予定し、23年度においてはその準備として、資料収集、アンケート作成を行った。

### 2) 秋田県内および日本海側北部沿岸地域で過去に発生した地震の調査・分析

#### (1) 県内および日本海側北部沿岸域の津波痕跡調査

担 当 秋田大学地域創生センター地域防災部門 准教授 鎌滝孝信

秋田県沿岸部における将来的な津波ポテンシャルを予測することを目的として、過去に発生した津波の分布範囲や履歴を調査・分析するものである。平成23年度は、地形図、空中写真等により、調査地点の検討を行った。

#### (2) 県内および日本海側北部地域における地震痕跡に関する調査

担 当 秋田大学地域創生センター地域防災部門 准教授 鎌滝孝信

秋田県において大きな揺れを伴う地震が過去にどれくらいの規模や間隔で発生してきたかを調べ、将来の地震被害予測に資する情報を取得するために行うものである。平成23年度は、①考古遺跡の発掘調査報告書に液状化痕等の証拠が記載されていないかを調べる、②考古遺跡の発掘調査担当者等にヒアリングを行う、等の調査・研究計画の立案を行った。

### (3) 地域に立脚した都市地震危険度評価手法の提案

担 当 秋田大学地域創生センター地域防災部門 准教授・地域防災部門長 水田敏彦

本研究では積雪寒冷地の地震危険度評価の手法を根本的に見直し、地域性に立脚した地震危険度評価手法のあり方を示すことを目的としている。実測データの収集は秋田県を対象にし、積雪による木造住宅の振動特性の計測を行った。また、積雪期の道路閉塞予測システムを開発し、道路データベースの構築、避難といったソフト面の解析までが可能なシステムへの拡張、などが開始された。

## 3) 現地調査

### (1) 石巻市被災地調査

実 施 日 平成23年10月1日(土)

場 所 宮城県石巻市

担 当 秋田大学地域創生センター地域防災部門 准教授・地域防災部門長 水田敏彦

石巻市は大地震発生から50日ほど経過した4月30日に現地調査を行っており、震災から半年が経過したのを受け、建物の撤去・再建状況の把握を目的として、津波で甚大な被害を被った門脇小学校や石ノ森漫画館を中心に視察した。

### (2) 象潟地形調査

実 施 日 平成23年11月4日(金)

場 所 にかほ市

担 当 秋田大学地域創生センター地域防災部門 准教授 鎌滝孝信

文部科学省の科学技術試験研究委託事業として実施されている「ひずみ集中帯の重点的調査観測・研究」プロジェクトの古地震分野研究者による巡検に同行し、ひずみ集中帯の古地震、古津波に関する意見交換を行った。また、日本海沿岸域の古地震調査の調査地点として象潟が有力な候補地点になり得ることを現地で確認した。

### (3) 仙台市被災地調査

実 施 日 平成23年12月10日(土)～11日(日)

場 所 宮城県仙台市

担 当 秋田大学地域創生センター地域防災部門 准教授・地域防災部門長 水田敏彦

仙台空港、名取市閑上地区、仙台港といった仙台市及びその周辺地域の主要な被災地を視察した。

### (4) 浦安市被災地調査

実 施 日 平成23年12月30日(金)

場 所 千葉県浦安市

担 当 秋田大学地域創生センター地域防災部門 准教授・地域防災部門長 水田敏彦

液状化により住宅が傾くなどの被害を受けた地域を中心に視察した。



(5) 東北地方太平洋沖地震被災地現地調査（防災力研究センターとの共同研究）

実施日 平成24年2月28日（火）～3月2日（金）

場所 福島県、宮城県、岩手県

担当 秋田大学地域創生センター地域防災部門

准教授 鎌滝孝信

准教授・地域防災部門長 水田敏彦

工学資源学研究科附属地域防災力研究センターと

の共同研究として、地域防災力研究センターの松富教

授と、2011年東北地方太平洋沖地震の被災地にお

ける現地調査を行った。調査では、福島県から岩手県

の太平洋岸で津波被害を受けた場所を視察。秋田県を中心とした日本海側北部地域で同様な津波被害が生じた際の被災イメージを持つことの重要性を再認識した。



4) 講演会等

(1) 「能代市上町自治会防災企画・自主防災訓練・防災セミナー」講演

実施日 平成23年10月16日（日）

場所 能代市

担当 秋田大学地域創生センター地域防災部門 准教授・地域防災部門長 水田敏彦

『東日本大震災から学ぶ』をテーマとし、「東日本大震災後における秋田県の防災について」を主題とした防災講話を行った。①東北地方太平洋沖地震、その時とその後、②東日本大震災の被害について、③基本情報を重ね合わせ今後の防災を考える、について解説した。講演後、避難食作りや「身近な防災グッズ自慢」を参加者全員で行い防災意識を高めた。

(2) 「秋田県地域防災力向上研修」講演

実施日 平成23年10月25日（火）

場所 秋田県

担当 秋田大学地域創生センター地域防災部門 准教授・地域防災部門長 水田敏彦

市町村及び県地域振興局職員の自主防災組織の結成促進・育成強化に関する意識向上と、県内各市町村における避難に関する対応能力の向上を目的とした研修。「地域防災力向上のための自主防災組織について」と題した講演を行った。①自分の身は自分で守ること、自助・共助・公助の失敗モデル、②秋田県での取り組み例、③地域の災害危険度を知る方法、について説明した。

(3) 「平成23年度東北地域災害科学研究集会」発表

実施日 平成24年1月7日（土）～8日（日）

場所 岩手県

担当 秋田大学地域創生センター地域防災部門 准教授・地域防災部門長 水田敏彦

「秋田県の歴史地震の教訓を防災教育教材にする試みー1896年陸羽地震を対象とした子ども向け教材の作成ー」と題した研究発表を行った。1896年（明治29年）陸羽地震は秋

田県内で205名の死者が発生しており、被災の中心の地名から『六郷地震』とも呼ばれている。この地震を対象として、地域史料の収集・整理を行い、これらをまとめて人的被害の発生要因を明らかにし、教訓をもとに作成した子ども向け絵本とアニメーション教材の報告を行った。

#### (4) 「平成23年度東北地域災害科学研究集会」発表

実施日 平成24年1月7日(土)～8日(日)

場 所 岩手県

担 当 秋田大学地域創生センター 地域防災アドバイザー 野越三雄

東北地方太平洋沖地震のM9.0という巨大なエネルギー故の誘発地震が日本全国に発生した。秋田県においても1983年日本海中部地震近傍、内陸北部(大館周辺)、及び内陸南部(大仙市周辺)に活発な誘発地震が発生し長期活動の様相を呈している。そこで、この機会を捉え殆ど研究されていない誘発地震の基本的性質を調べるために、秋田気象台の発表している震度1以上のデータにより、上記3地域における3月11日以降発生地震の地震週別個数変化、1年前からの累積地震個数変化、及びMと深さの月別変化など地域特性を考慮して研究した。これによりこれらの地域は通常の30～40倍程度の活発さなどを明らかにしたことなどについて報告した。

#### (5) 「由利地域震災対応フォーラム～私たちの備えは十分か～」基調講演

実施日 平成24年3月3日(土)

場 所 由利本荘市

担 当 秋田大学地域創生センター地域防災部門  
准教授 鎌滝孝信

由利地域震災対応地域活動ネットワーク主催で行われ、講演、写真パネル展などを通して防災意識を高めることを目的としたフォーラムの中で「由利地域における震災の歴史と地震防災・減災活動について」と題し基調講演を行った。東日本大震災や過去に発生した震災被害の状況、地震・津波の基礎などを説明した上で「自分の命は自分で守る」という強い意志、正しい知識・備え・対処の必要性、日頃の訓練の重要性を解説した。また、由利地域における過去の震災例や今後地震が起こりうる可能性についても言及。個々の防災対策の重要性について述べ、由利地域における防災について考える契機とした。



#### (6) 「土木学会東北支部技術研究発表会」発表

実施日 平成24年3月3日(土)

場 所 秋田市

担 当 秋田大学地域創生センター地域防災部門 准教授・地域防災部門長 水田敏彦

テーマは『日本海側から見た東日本大震災とその教訓ー来るべき秋田沖地震に備えてー』。「東

日本大震災から学ぶ秋田県の地震対策と地域防災活動」と題した講演を行った。①秋田県の被害状況と防災上の教訓として、雪と地震の複合災害と防災、秋田県の被災地への人的支援、後方支援のための拠点機能強化の必要性、②秋田県における地域防災活動の例、について説明した。

#### (7) 「あきた発東北再生東日本大震災から1年」講演



実施日 平成24年3月11日(日)

場 所 秋田市

主 催 秋田魁新報社、秋田銀行、北都銀行、秋田大学

担 当 秋田大学地域創生センター地域防災部門

准教授・地域防災部門長 水田敏彦

東日本大震災から1年を経過し、東北地方の再生と秋田県が牽引役となって果たすべき役割について、国土軸、自然エネルギー、観光、防災の各分野から考えることを目的として

開催された。講演では、秋田県沿岸部および内陸部における地震発生を想定する必要と、東日本大震災で一人の犠牲者も出さなかった「釜石の奇跡」は不断の防災教育があったためであることなどを説明し、秋田県における防災対策について、地域性を考慮しながら考えていかななくてはならないと報告した。また、パネルディスカッションでは、人は自然の前に謙虚になり、その上で現代のあらゆる可能性を考えながら行動することが大事であること、被災地支援で培った経験をこれからの防災・減災に繋げていくことが重要であることなどについて提言した。

## 2. 2 防災について地域で活動できる人材の育成

### 1) 講演会等

#### (1) 「秋田県経営者協会」招待講演

実施日 平成23年9月1日(木)

場 所 秋田市

担 当 秋田大学地域創生センター 地域防災アドバイザー 野越三雄

「2011年東日本大震災とは何か」を演題にして講演した。未曾有の大震災をもたらした東北地方太平洋沖地震の発生前における東北地方太平洋側の研究状況から説き起こし、宮城県沖地震についてM7以上クラスの30年間発生確率を99%とした東北大学の稠密な研究成果を全世界的な成果として多くの研究者が認め信じていたのが宮城・福島・茨城沖への3連動となって、巨大な断層を生じたことについての地震研究者のショックを述べ、全面的な研究の見直しを行わなければならないとした。また、これらに関連して秋田県の地震環境とこれまでの地震対策についても説明し理解を求めた。

(2) 「秋田市耐震促進イベント 秋田市内で発生した過去の地震被害と教訓」講演

実施日 平成23年10月16日(日)

場所 能代市

担当 秋田大学地域創生センター地域防災部門 准教授・地域防災部門長 水田敏彦

東日本大震災を教訓に、地震災害に備えるため、古い木造住宅の所有者に対して、耐震改修工場の必要性を感じてもらい、耐震改修の促進を図ることを目的とした防災イベント。「秋田市内で発生した過去の地震被害と教訓」と題した講演を行った。①東日本大震災の被害と概要、②秋田市内で発生した過去の地震被害として、830年天長地震、1914年秋田仙北地震、1939年男鹿地震、1983年日本海中部地震の被害状況とその背景を説明した。

(3) 潟上市・南秋田郡PTA連合会研修会「やってみよう参加しよう地域防災！」講演

実施日 平成23年10月30日(日)

場所 潟上市

担当 秋田大学地域創生センター地域防災部門 准教授・地域防災部門長 水田敏彦

テーマは「身近に引き寄せよう！防災感覚～地域の特性から見た地域防災の課題とは～」。「見直そう！地域の防災」と題した講演を行った。①過去に秋田県で発生した被害地震、②東日本大震災とその後、③防災の基本、④秋田県での取り組み例について説明した。

(4) 秋田大学シンポジウム「日本海側北部地域における震災とその対策について

—東日本大震災を踏まえた地域防災のあり方を考える—参加

実施日 平成23年11月1日(火)

場所 秋田市

担当 秋田大学地域創生センター地域防災部門  
准教授・地域防災部門長 水田敏彦  
准教授 鎌滝孝信  
地域防災アドバイザー 野越三雄

参加者数 234名

東日本大震災最大の被災地である宮城県石巻市市長、本学地震・津波研究者、秋田魁新報社記者等による講演・パネルディスカッションを通じ、秋田県および日本海側北部地域における防災・減災の在り方を探った。特別講演では、石巻市亀山市長が、被災地である石巻市の現状と今後の復興計画を、松富教授が津波災害の研究調査についてそれぞれ講演した。パネルディスカッションでは、地域創生センター水田准教授、鎌滝准教授、野越地域防災アドバイザーが、東日本大震災の調査研究報告を、小松秋田魁新報社記者からは被災地の現状説明とともに、秋田県における防災対策強化の提言があった。





(5) 平成23年度三大学連携事業「作る・知る・学ぶ in 能代」講演



実施日 平成23年11月5日(土)

場所 能代市

担当 秋田大学地域創生センター地域防災部門

准教授・地域防災部門長 水田敏彦

県内国公立3大学が連携して実施した教養イベントでの講演。異文化交流事業・市民講演会・高大連携授業を3大学の教員がそれぞれ実施し、水田准教授は、市民講演会において東日本大震災を踏まえた秋田県の防災対策、過去に発生した地震から

の教訓等をテーマに講演した。元禄、宝永時代の地震から昭和に発生した男鹿地震、二ツ井地震、日本海中部沖地震の被害状況を解説し、地震後家屋に戻った際に倒壊家屋に押しつぶされたことによる死亡者が多いこと、地震が発生しても逃げなかったため死亡したことなど、地震直後の行動により人的被害が拡大したことを説明した。

(6) 秋田大学公開講座「日本海側北部地域における震災とその対策について in 東京

—東日本大震災を踏まえた地域防災のあり方を考える—」講演

実施日 平成23年12月20日(火)

場所 東京都

担当 秋田大学地域創生センター地域防災部門

准教授・地域防災部門長 水田敏彦

准教授 鎌滝孝信

参加者数 46名

水田准教授および鎌滝准教授が、秋田県と日本海側北部地域における防災・減災対策について、秋田県出身者や秋田大学と縁のある方々を対象として講演を行った。水田准教授は、人間の努力次第で被害を少なくすることができること、過去の地震歴史を未来に活かすことなどを、鎌滝准教授は、津波堆積物の地質調査により、古文書等の記録では分からないことが判明することもあること、地質学的記録から巨大地震や津波発生を考えることの重要性などについて解説した。



(7) 「平成23年度自主防災組織育成指導者研修会」講演

実施日 平成23年12月～平成24年1月

場所 大館市、秋田市、にかほ市、大仙市、美郷町、羽後町、東成瀬村

担当 秋田大学地域創生センター地域防災部門 准教授 鎌滝孝信

防災講話を行い、自主防災組織においてリーダーや地域住民がとるべき行動、役割のほか、地震発生のメカニズムや東日本大震災の被害状況について説明した。自主防災組織の活動については、平常時と発災時においてとるべき行動の具体を挙げ、参加者である自治会等のリーダーが意識して行動する必要があると説明した。地域防災について、各地域それぞれに異なる課題があることを再認識し、来年度の活動に関する示唆を得た。

(8)「大館北秋田教頭会研修大会」講演

実施日 平成24年1月27日(金)

場所 大館市

担当 秋田大学地域創生センター地域防災部門 准教授・地域防災部門長 水田敏彦

「自然災害と防災教育及び災害時における学校の役割～東日本大震災の事例を中心として～」と題した講演を行った。①東日本大震災における学校の被害・対応として、釜石小学校、南気仙沼小学校、釜石東中学校等の具体的な事例、②大館、北秋田市周辺に被害を及ぼした地震、について説明した。

(9)「大仙市民大学教養講座」講演



実施日 平成24年3月9日(金)、3月13日(火)、  
3月16日(金)

場所 大仙市

担当 秋田大学地域創生センター地域防災部門  
地域防災アドバイザー 野越三雄  
准教授・地域防災部門長 水田敏彦

野越地域防災アドバイザーは、日本および世界中で発生している巨大地震、日本を取り囲むプレート、津波発生や地震発生の仕組み、大仙市近郊で過去に発生した2つの大地震(陸羽地震、秋田仙北地震)などについて説明した。水田准教授は、陸羽地震、秋田仙北地震に関する発災当時の写真や古文書を紹介し、大仙市で巨大地震が発生することを想定し備えておく必要性和発生した場合の対処について解説した。また、大仙市は鉄道および高速交通網の整備が良いため、秋田県沿岸部で地震・津波が発生した場合には救援の拠点となりうる地域であることも説明した。

(10)「秋田市自主防災リーダー研修会」講演

実施日 平成24年3月10日(土)

場所 秋田市

担当 秋田大学地域創生センター地域防災部門  
准教授 鎌滝孝信

自主防災組織においてリーダーや地域住民がとるべき行動、役割のほか、地震発生のメカニズムや東日本大震災の被害状況について説明した。自主防災組織の活動については、平常時と発災時においてとるべき行動の具体を挙げ、参加者である自治会等のリーダーが意識して行動する必要があると説明した。秋田市北部の自治会等のリーダーを対象としているため、沿岸部に居住している方も多く参加しており、津波、地震災害の発生を想定し、自治体でどのような行動をとるべきかを考える契機となった。



## 2) 出前講座

### (1) 男鹿北中学校出前講座

実施日 平成24年2月16日(木)

場所 男鹿市立男鹿北中学校

担当 秋田大学地域創生センター地域防災部門  
准教授 鎌滝孝信

参加者数 41名(全校生徒)

小中学生に対する防災教育の一つとして、男鹿北中学校生徒を対象に実施。鎌滝准教授が、マグニチュード、震度、地震や津波が起こるメカニズムなどの基礎的なこと、秋田県で過去に多くの被害を出した地震・津波災害等について講義した。講義の後、生徒自身が作製した紙製実験教材により、家屋の揺れ方と対処法について実験した。海岸地域にある生徒が心配する地震・津波災害の対処方法について、鎌滝准教授は、普段から危機意識を持つこと、正しい知識を身に付けることなどを強く説明した。



## 2. 3 県及び市町村への防災施策に関する指導助言

### 1) 秋田県被害想定調査検討委員会参画

#### (1) 仕様書作成支援

実施日 平成23年9月2日(金)、10月7日(金)、10月28日(金)

場所 秋田市

担当 秋田大学地域創生センター地域防災部門  
准教授・地域防災部門長 水田敏彦  
准教授 鎌滝孝信

秋田県の地震被害の想定並びに地震防災対策を推進するために必要な助言及び検討を行った。また、秋田県地震被害想定調査における「津波堆積物調査」の項目について、仕様書の作成および公告後の質問対応について、秋田県総合防災課担当者の支援を行った。

### 2) 秋田県の特性を踏まえた調査研究

#### (1) 行政、防災機関、企業、県民への防災に対する役割分担の研究

実施期間 通年

担当 秋田大学地域創生センター地域防災部門 准教授 鎌滝孝信

企業や県民に対する防災意識向上のために、行政、防災機関、大学等が役割分担、すなわち得手不得手をお互いに補いながら活動し、秋田県全体の防災力を高める基盤システムを構築することを目的としている。平成23年度は、鎌滝准教授が秋田県総合防災課主催の「秋田県自主防災組織育成指導者研修会」において防災講話を行い、次年度以降の研究を進めていく上での具体的な課題の抽出に取り組んだ。



## (2) 協定締結自治体における防災への要望把握

実施日 平成24年2月1日(水)～2月3日(金)、2月15日(水)  
2月21日(火)～2月22日(水)

場 所 美郷町、小坂町、大仙市、大館市、能代市、男鹿市

担 当 秋田大学地域創生センター地域防災部門

准教授・地域防災部門長 水田敏彦

准教授 鎌滝孝信

県内6自治体(本学との協定締結自治体)と防災・減災対策に関する打ち合わせを行い、地域防災において自治体の本学へ求める内容の把握とともに、今後の計画について意見交換を行った。平成24年度以降は、秋田県が策定する地域防災計画を基とした各自治体の特性あるいは要望に応じた防災計画の策定において指導・助言を行う。

# 参 考 资 料

平成23年度事業実施状況一覧

	事業名	開催時期	会場	対象者	参加者数	担当教員、担当部局	備考
公開講座	英語の詩を読んでみませんか？ —対訳で味わう英詩の世界と英国文化— (全5回)	23.6.22(水) ~ 7.20(水)	カレッジ プラザ	どなたでも	26	教育文化学部	
	地球環境とインフラの旅(全6回)	23.8.8(月) ~ 9.26(月)	カレッジ プラザ	どなたでも	27	工学資源学研究所	
	身近な人を支える知識と技術 ~保健学からの提案~ (全4回)	23.11.10(木) ~ 12.1(木)	カレッジ プラザ	どなたでも	21	医学系研究科 保健学専攻	
	声楽講座 —秋田の歌曲を歌う—(全5回)	23.11.13(木) ~ 12.18(木)	秋田大学 60周年 記念ホール	どなたでも	18	教育文化学部	
	人形浄瑠璃に親しむ(全4回)	23.11.26(土) ~ 12.24(土)	カレッジ プラザ	どなたでも	44	教育文化学部	
	総合自殺予防学インテンシブコース(全3回)	24.1.27(金) ~ 2.10(金)	カレッジ プラザ	保健師、行政担当者 サポーター	21	医学系研究科 公衆衛生学講座	
横手分校	平成23年度観察・実験探求講座(サイエンスキャラバン) ハテナにチャレンジ教室	23.8.2(火)	横手清陵 学院 中学校	小・中学生	30	工学資源学研究所	
	平成23年度横手市小学校外国語活動研修会・ 秋田大学公開講座「小学校教員のための英語教育レッスン」	23.8.22(月)	秋田大学 横手分校	横手市内小学校教員	22	横手分校 教育総合推進センター	
	平成23年度大学生・高校生教職体験プログラム 「教育ミニミニ実習」	23.12.26(月) ~ 12.28(水) 24.1.12(木) ~ 1.13(金)	横手南 中学校	秋田大学生 横手市内高校生	22	横手分校 地域創生センター	
	中学生向け科学教室 果物の香りを作ろう!	24.1.10(火)	横手高校 青雲館	横手市内中学生	13	工学資源学研究所	
	秋田大学横手分校講演会 「横手を訪れた画家たち」	24.2.18(土)	秋田大学 横手分校	どなたでも	110	教育文化学部	
	横手分校学生地域交流 「秋田大学オフィシャルいぶりがっこ製造プロジェクト」	通年				教育文化学部生活者科 学長沼研究室	
地域協働部門 北秋田分校	第1回秋田内陸線トレイン・ミーティング ～若い視点で語る秋田内陸線の未来～	23.9.10(土)	内陸縦貫 鉄道車内	秋田大学生 北鷹高校生徒会	21	北秋田分校	
	第2回秋田内陸線トレイン・ミーティング ～提言具体化のプレリュード～	23.10.22(土)	秋田大学	秋田大学生 北鷹高校生徒会	37	北秋田分校	
	平成23年度サイエンス・キャラバン ハテナにチャレンジ教室「おもしろ理科実験」	23.10.29(土)	北秋田市 鷹巣 中学校	小・中学生	400	教育文化学部 北秋田分校	
	おもしろサイエンス・スクール —わくわく子ども教室—	23.11.20(日)	大館市 有洞 小学校	小学生	約500	工学資源学研究所 北秋田分校	
	平成23年度大学改革シンポジウム 「地域課題解決のアプローチと地域に学びつ学生力 ～秋田大学北秋田分校事業～」	23.11.21(月)	北秋田市交 流センター	自治体関係者、 市民	180	北秋田分校 地域創生センター	
	「巨大噴火の遺産 胡桃館遺跡 ～火山防災・地域活性化への活用を目指して～」	24.3.24(土)	北秋田市 交流 センター	どなたでも	70	教育文化学部	
自治体連携 関係	秋田大学と美郷町との連携協定締結式及び記念講演会	23.5.13(金)	美郷町	美郷町民	250	教育文化学部	
	秋田大学・かもあおさ実業校共催 海辺の体験教室 海の生物学 ～さばいて知ろう 地元の魚～	23.9.18(日)	男鹿 かもあおさ 実業校	どなたでも	8	教育文化学部	
	秋田大学・かもあおさ実業校共催 海辺の体験教室 海の生物学 ～食べて学べる 学期ファイナル学芸会～	23.10.16(日)	男鹿 かもあおさ 実業校	どなたでも	約100	教育文化学部	
	美郷町・秋田大学連携事業 第4回水の郷シンポジウム	23.10.29(土)	美郷町 公民館	どなたでも	250	地域創生センター	
	平成23年度三大学連携事業「作る・知る・学ぶ in 能代」 (秋田県立大学、国際教養大学との連携事業)	23.11.5(土)	能代市 中央公民館	どなたでも	206	地域創生センター	11/5 留学生料理教室(45)、高大連携 授業(102)、市民講演会(59)
	秋田大学と湯上市との連携協定締結式	24.2.17(金)	湯上 市役所			地域創生センター	
	火山はどうやってできるのかな？ —みんなでカラフル火山を作ろう！—	24.2.20(月)	大仙市 南橋岡 小学校	小学生	77	教育文化学部	
	秋田大学子ども科学教室in八峰町 海の生物学 ～ハタハタを見て、解剖して、食べて、知ろう～	24.3.4(日)	八峰町 峰峯館	どなたでも	25	教育文化学部	
地域 アカデミー	秋田大学地域アカデミー	10.18(火) ~ 10.21(金)	秋田大学 仙北市	県内外どなたでも	30 (定員)	地域創生課	催行中止
大学訪問	大学訪問受入	随時受入				20件受入(H24.3現在)	
地域創生 センター主催	秋田大学子ども見学デー	23.8.23	秋田大学	小・中学生親子	218	全学	
	秋田大学特別講演会「法医学と社会の接点」	24.2.13(月)	秋田大学 60周年 記念ホール	どなたでも	134	地域創生センター	

平成23年度事業実施状況一覧

	事業名	開催時期	会場	対象者	参加者数	担当教員、担当部局	備考	
地域協働部門	秋田大学天文台イベント	23.4.2(土) ~ 継続開催	秋田大学天文台	どなたでも		教育文化学部		
	秋大憩いのコンサート(全12回)	23.4.23(土) ~ 24.3.19(土)	秋田大学IC	どなたでも		教育文化学部		
	第1回 子どものづくり教室 ~ソーラークッカー製作~	23.5.21(土)	ものづくり創造工学センター	小・中学生		工学資源学研究所附属ものづくり創造工学センター		
	モデルロケット教室	23.5.25(水) ~ 9.27(火)	能代市	能代市小学生 能代市小学校教員		工学資源学研究所附属ものづくり創造工学センター		
	第13回秋田メディカル・サイエンスカフェ	23.6.11(土)	市民交流プラザアルヴェ	どなたでも		医学系研究科		
	第2回子どもづくり教室 ~水ロケット製作~	23.6.26(日)	ものづくり創造工学センター	小・中学生		工学資源学研究所附属ものづくり創造工学センター		
	小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル特別展示への出展	23.7.2(土) ~ 7.3(日)	能代市総合体育館	どなたでも		工学資源学研究所		
	第3回子どもづくり教室 ~風に向かって走る車！ウインドカー製作~	23.7.18(月・祝)	ものづくり創造工学センター	小・中学生		工学資源学研究所附属ものづくり創造工学センター		
	古川宇宙飛行士の長期滞在におけるリアルタイム発信イベント	23.7.28(木)	秋田大学	小・中学生、市民		教育文化学部		
	子どものづくり教室出前授業「ソーラークッカーを作ろう！」	23.8.8(月)	秋田県庁第二庁舎	小・中学生		工学資源学研究所附属ものづくり創造工学センター		
	第7回能代宇宙イベント	23.8.20(土) ~ 8.25(木)	能代市浅内	大学生・高校生		工学資源学研究所附属ものづくり創造工学センター	学生参加約400	
	親子環境教室~エコ科学実験教室~	23.8.22(月)	秋田大学工学資源4号館	小学生・保護者		工学資源学研究所		
	第14回秋田メディカル・サイエンスカフェ	23.9.4(日)	市民交流プラザアルヴェ	どなたでも		医学系研究科		
	第4回 子どものづくり教室 ~手作り天体望遠鏡製作~	23.9.23(金・祝)	ものづくり創造工学センター	小・中学生		工学資源学研究所附属ものづくり創造工学センター		
	宇宙子どもワークショップ2011 宮古高校モデルロケット教室	23.10.3(月)	宮古高校	宮古高校生徒		工学資源学研究所附属ものづくり創造工学センター		
	第5回 子どものづくり教室 ~モデルロケット製作~	23.10.23(日)	ものづくり創造工学センター	小・中学生		工学資源学研究所附属ものづくり創造工学センター		
	第6回 子どものづくり教室 ~クリスマスリース製作~	23.11.23(水・祝)	ものづくり創造工学センター	小・中学生		工学資源学研究所附属ものづくり創造工学センター		
	第1回 大人ものづくり教室 ~スライドショーを作ろう！~	23.11.27(日)	ものづくり創造工学センター	高校生以上		工学資源学研究所附属ものづくり創造工学センター		
	第15回秋田メディカル・サイエンスカフェ	23.12.3(土)	市民交流プラザアルヴェ	どなたでも		医学系研究科		
	子ども科学教室「土の科学」	23.12.26(月)	秋田大学VBL	小学生・保護者		工学資源学研究所		
	第7回 子どものづくり教室 ~ぐにゃぐにゃ風(スレッドカイト)製作~	23.12.28(日)	ものづくり創造工学センター	小・中学生		工学資源学研究所附属ものづくり創造工学センター		
	秋田大学総合技術部第3回テクノフェスタ	24.1.7(土)	市民交流プラザアルヴェ	どなたでも		秋田大学総合技術部		
	第8回 子どものづくり教室 ~万華鏡製作~	24.1.22(日)	ものづくり創造工学センター	小・中学生		工学資源学研究所附属ものづくり創造工学センター		
	第9回 子どものづくり教室 ~電子オルゴール製作~	24.2.26(日)	ものづくり創造工学センター	小・中学生		工学資源学研究所附属ものづくり創造工学センター		
	第10回 子どものづくり教室 ~空気電池製作~	24.3.25(日)	ものづくり創造工学センター	小・中学生		工学資源学研究所附属ものづくり創造工学センター		
	第2回 大人ものづくり教室 ~スライドショーを作ろう！~	24.3.25(日)	ものづくり創造工学センター	高校生以上		工学資源学研究所附属ものづくり創造工学センター		
	秋田県内3ジオパーク候補地域への認定申請支援活動						教育文化学部	
	世界トップレベル中・高校生育成の地学ゼミナール						教育文化学部	
その他	産・学・官連携セミナー~地方大学発の話題性のある研究の紹介~	23.5.12(木)	CIC東京	首都圏の方どなたでも		工学資源学研究所	CIC東京と港区商工会館との共催	
	募金活動(平成23年台風12号)							
	秋田県赤十字血液センターによる献血事業への協力							
	「秋田大学キャンパスガイドマップ」の作成							

平成23年度事業実施状況一覧

	事業名	開催時期	会場	対象者	参加者数	担当教員、担当部局	備考
地域防災部門	秋田県内各地の活断層調査	通年				鎌滝准教授	
	秋田県における誘発地震等の研究	通年				野越地域防災アドバイザー	
	秋田県沿岸市町村自治体への津波に関するアンケート予備的調査	通年				野越地域防災アドバイザー	
	県内および日本海側北部沿岸域の津波痕跡調査	通年				鎌滝准教授	
	県内および日本海側北部地域における地震痕跡に関する調査	通年				鎌滝准教授	
	地域に立脚した都市地震危険度評価手法の提案	通年				水田地域防災部門長	
	現地調査 (石巻市・にかほ市・仙台市・浦安市・象潟町・東北地方太平洋沖地震被災地)	23.10.1(土) ~ 24.3.2(金)				水田地域防災部門長 鎌滝准教授	
	【防災講話】 能代市上町自治会防災企画・自主防災訓練・防災セミナー	23.10.16(日)	能代市	どなたでも		水田地域防災部門長	
	【防災講話】秋田県地域防災力向上研修	23.10.25(火)	秋田市	市町村・県地域振興局職員		水田地域防災部門長	
	【学会・シンポジウム等参加】 平成23年度東北地域災害科学研究会	24.1.7(土)~8(日)	岩手県			水田地域防災部門長 野越地域防災アドバイザー	
	【基調講演】 由利地域震災対応フォーラム ～私たちの備えは十分か～	24.3.3(土)	由利本荘市 シーガル	どなたでも		鎌滝准教授	
	【防災講話】土木学会東北支部技術発表会	24.3.3(土)	秋田大学	土木学会東北支部		水田地域防災部門長	
	【学会・シンポジウム等参加】 シンポジウム「あきた発東北再生 東日本大震災から1年」	24.3.11(日)	秋田キャッスルホテル	どなたでも		水田地域防災部門長	秋田銀行・北都銀行・秋田魁新報社・秋田大学主催
	「秋田県経営者協会」招待講演	23.9.1(木)	秋田市	秋田県経営者協会		野越地域防災アドバイザー	
	【防災講話】秋田市耐震促進イベント講演会 「秋田市内で発生した過去の地震被害と教訓」	23.10.16(日)	能代市	どなたでも		水田地域防災部門長	
	【防災講話】潟上市・南秋田郡PTA連合会研修会 「やってみよう参加しよう地域防災！」	23.10.30(日)	県中央男女共同参画センター	どなたでも		水田地域防災部門長	
	秋田大学シンポジウム 「日本海側北部地域における震災とその対策について —東日本大震災を踏まえた地域防災のあり方を考える—」	23.11.1(火)	秋田ビューホテル	どなたでも	234名	地域創生センター	
	平成23年度三大学連携事業「作る・知る・学ぶ in 能代」講演	23.11.5(土)	能代市中央公民館	どなたでも	206	地域創生センター	11/5 留学生料理教室(45)、高大連携授業(102)、市民講演会(59)
	秋田大学公開講座 「日本海側北部地域における震災とその対策について[in東京—東日本大震災を踏まえた地域防災のあり方を考える—」	23.12.20(火)	CIO東京	首都圏の方どなたでも	46名	地域創生センター	
	【防災講話】平成23年度自主防災組織育成指導者研修会	23.12~24.1	大館市、秋田市、にかほ市、大仙市、美郷町、羽後町、東成瀬村			鎌滝准教授	
「大館北秋田教頭会研修大会」講演	24.1.27(金)	大館市	大館北秋田教頭会		水田地域防災部門長		
「大仙市民大教養講座」講演	24.3.9(金)、13(火)、16(金)	大曲地域職業訓練センター	どなたでも		水田地域防災部門長 野越地域防災アドバイザー		
「秋田市自主防災リーダー研修会」講演	24.3.10(土)	秋田市	秋田市各自治会		鎌滝准教授		
男鹿北中学校 出前講座	24.2.16(木)	男鹿北中学校	男鹿北中学校全校生徒	41名	鎌滝准教授		
県及び市町村への防災施策に関する指導・助言	秋田県被害想定調査検討委員会参画	23.9.2(金)、10.7(金)、10.28(金)				水田地域防災部門長 鎌滝准教授	
	行政、防災機関、企業、県民への防災に対する役割分担の研究	通年				鎌滝准教授	
	協定締結自治体における防災への要望把握	24.2.1(水)~2.3(金)、2.15(水)2.21(火)~2.22(水)				水田地域防災部門長 鎌滝准教授	



【平成23年度 地域創生センター運営委員】

	職 名	氏 名	任 期	備考
1	委員長 学長特別補佐 (評価・社会貢献担当) 地域創生センター長	中 田 真 一	規程第3条第1号, 2号 在任期間	
2	運営委員	教育文化学部 教授	篠 原 秀 一	規程第3条第3号 平成23年6月1日～平成25年3月31日
3		医学系研究科 教授	河 谷 正 仁	規程第3条第3号 平成23年6月1日～平成25年3月31日
4		工学資源学研究科 教授	神 谷 修	規程第3条第3号 平成23年6月1日～平成25年3月31日
5		横手分校長	根 岸 均	規程第3条第4号 平成23年6月1日～平成25年3月31日
6		北秋田分校長	濱 田 純	規程第3条第4号 平成23年6月1日～平成25年3月31日
7		地域創生センター 専任教員	松 岡 昌 則	規程第3条第5号 平成23年6月1日～平成25年3月31日
8		〃	水 田 敏 彦	規程第3条第5号 平成23年9月1日～平成25年3月31日
9		〃	鎌 滝 孝 信	規程第3条第5号 平成23年10月1日～平成25年3月31日

【地域創生課】

職 名	氏 名	備 考
地域創生課長	藤 井 和 明	
地域協働部門総括主査	澁 谷 隆 男	
地域協働部門総括主査	藤 澤 裕 子	平成23年8月～
地域防災部門主査	利 勝 利	
地域協働部門	山 方 遥	
地域協働部門	松 井 良 枝	
地域防災部門	小 番 未 斗 理	
地域協働部門	渡 邊 ま ど か	
地域協働部門	加 藤 三 保 子	
地域協働部門	内 田 佳 菜	
横手分校担当	石 成 美 穂 子	

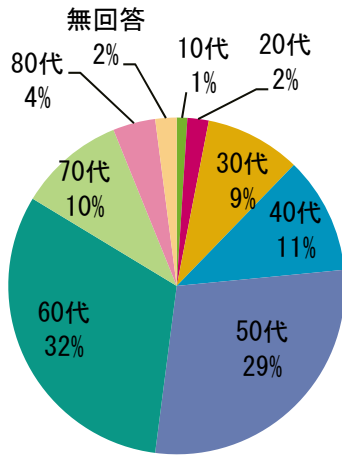
社会貢献事業で御協力いただいた学内教職員の方々

所属等		氏名
教育文化学部教科教育学講座	教授	藤田静作
教育文化学部教科教育学講座	准教授	川村教一
教育文化学部教科教育学講座	准教授	成田雅樹
教育文化学部音楽教育講座	教授	四反田素幸
教育文化学部音楽教育講座	准教授	齋藤洋
教育文化学部音楽教育講座	准教授	佐川馨
教育文化学部音楽教育講座	准教授	武内恵美子
教育文化学部音楽教育講座	准教授	爲我井壽一
教育文化学部美術教育講座	准教授	石井宏一
教育文化学部美術教育講座	准教授	猪巻明
教育文化学部発達教育講座	准教授	山名裕子
教育文化学部教育心理学講座	教授	高田知恵子
教育文化学部附属教育実践研究支援センター	教授	浦野弘
教育文化学部附属教育実践研究支援センター	客員教授	石橋研一
教育文化学部生活者科学講座	准教授	池本敦
教育文化学部生活者科学講座	教授	長沼誠子
教育文化学部日本・アジア文化講座	准教授	高村竜平
教育文化学部欧米文化講座	准教授	大西洋一
教育文化学部国際コミュニケーション講座	准教授	三宅良美
教育文化学部自然環境講座	教授	林信太郎
教育文化学部自然環境講座	准教授	石井照久
教育文化学部自然環境講座	准教授	成田憲二
教育文化学部環境情報講座	准教授	本谷研
教育文化学部環境情報講座	教授	上田晴彦
教育文化学部技術部基礎技術系	技術長	成田堅悦
教育文化学部技術部基礎技術系	技術専門員	毛利春治
教育文化学部技術部基礎技術系	技術職員	山下清次
教育文化学部音楽教育講座	非常勤講師	藤原ケイ子
教育文化学部音楽教育講座	非常勤講師	安藤満里
医学系研究科医学専攻形態解析学・器官構造学講座	教授	阿部寛
医学系研究科医学専攻小児科学講座	教授	高橋勉
医学系研究科医学専攻産婦人科学講座	教授	寺田幸弘
医学系研究科医学専攻公衆衛生学講座	研究科長・学部長・教授	本橋豊
医学系研究科医学専攻医科学情報学・国際交流学講座	教授	中村彰
医学系研究科医学専攻医科学情報学・国際交流学講座	准教授	片平昌幸
医学系研究科保健学専攻基礎看護学講座	教授	佐々木真紀子
医学系研究科保健学専攻基礎看護学講座	准教授	長谷部真木子
医学系研究科保健学専攻母子看護学講座	助教	吉田倫子
医学系研究科保健学専攻理学療法学講座	助教	上村佐知子
医学系研究科保健学専攻理学療法学講座	助教	齊藤明
医学系研究科保健学専攻作業療法学講座	教授	石井良和
医学系研究科保健学専攻作業療法学講座	助教	高橋恵一
医学部附属病院看護部	看護部長	高島幹子
医学部附属病院看護部	副看護部長	大塚悦子
医学部附属病院看護部	看護師長	富田典子
医学部附属病院看護部	副看護師長	中村美央
工学資源学研究科地球資源学専攻	教授	今井亮
工学資源学研究科地球資源学専攻	助教	網田和宏
工学資源学研究科環境物質工学専攻	教授	柴山敦
工学資源学研究科環境物質工学専攻	講師	井上幸彦
工学資源学研究科環境物質工学専攻	教授	中田真一
工学資源学研究科環境物質工学専攻	准教授	加藤純雄
工学資源学研究科環境物質工学専攻	准教授	進藤隆世志
工学資源学研究科環境物質工学専攻	助教	小笠原正剛
工学資源学研究科環境物質工学専攻	技術系補佐員	齊藤亜由子
工学資源学研究科材料工学専攻	教授	菅原茂夫
工学資源学研究科材料工学専攻	准教授	齋藤嘉一

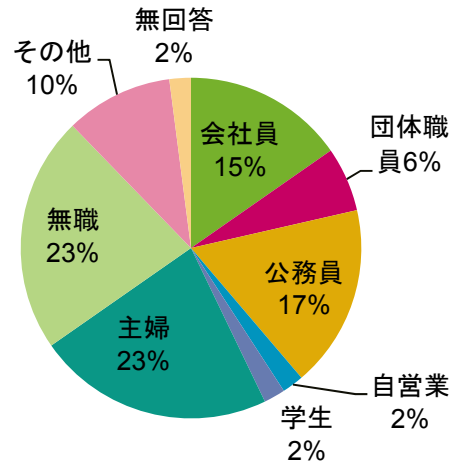
工学資源学研究科材料工学専攻	教授	原基
工学資源学研究科材料工学専攻	准教授	多田英司
工学資源学研究科材料工学専攻	教授	田口正美
工学資源学研究科材料工学専攻	准教授	魯小葉
工学資源学研究科材料工学専攻	助教	仁野章弘
工学資源学研究科情報工学専攻	助教	藤原克哉
工学資源学研究科機械工学専攻	准教授	山本良之
工学資源学研究科機械工学専攻	准教授	長谷川裕晃
工学資源学研究科電気電子工学専攻	准教授	水戸部一孝
工学資源学研究科電気電子工学専攻	准教授	山口留美子
工学資源学研究科土木環境工学専攻	准教授	浜岡秀勝
工学資源学研究科土木環境工学専攻	准教授	日野智
工学資源学研究科土木環境工学専攻	教授	川上洵
工学資源学研究科土木環境工学専攻	准教授	徳重英信
工学資源学研究科土木環境工学専攻	准教授	後藤文彦
工学資源学研究科土木環境工学専攻	教授	及川洋
工学資源学研究科土木環境工学専攻	教授	松富英夫
工学資源学研究科土木環境工学専攻	准教授	荻野俊寛
工学資源学研究科環境資源学研究センター	准教授	吉村哲
工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター	センター長・教授	神谷修
工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター	副センター長・助教	和田豊
工学資源学研究科機能物質工学系	技術専門員	山谷孝裕
工学資源学研究科技術部	再雇用技術職員	加藤隆一
工学資源学部研究科	非常勤講師	野村正幸
工学資源学部研究科	非常勤講師	津村守
産学連携推進機構	准教授	小川竜二郎
総合情報処理センター	准教授	吉崎弘一
総合情報処理センター	技術専門職員	正木忠良
総合情報処理センター	技術専門職員	小林俊央
総合情報処理センター	技術職員	鷲谷貴洋
総合情報処理センター	技術系補佐員	大友幹子
教育推進総合センター	助教	濱田陽
教育推進総合センター	准教授	細川和仁
教育推進総合センター	助教	ジョー・サイクス
附属図書館	館長	立花希一
客員教授		西木正明

# 平成23年度公開講座アンケート集計結果

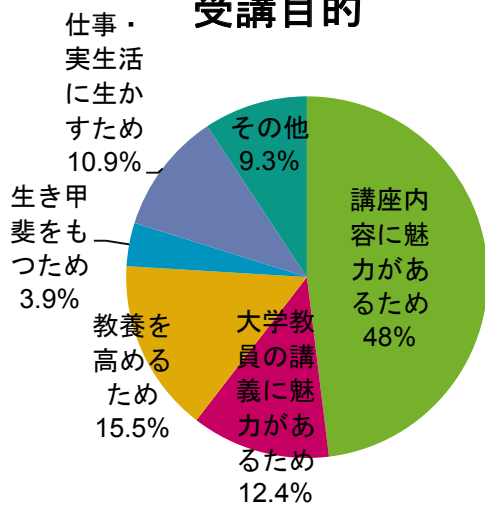
## 年齢



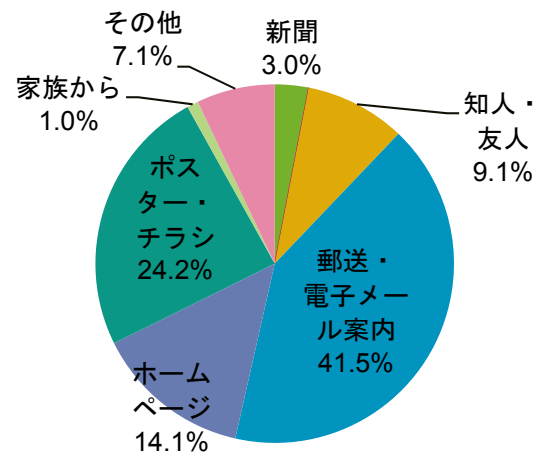
## 職業



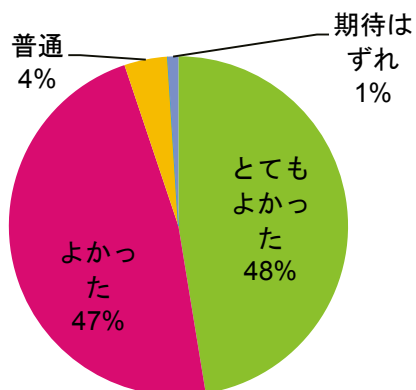
## 受講目的



## 何で知ったか



## 内容・方法



公開講座総受講者数	158名
アンケート回答者数	98名

# アンケート結果 分析

## 1. 受講生の年齢について

最も多いのが「60代」の32%、次いで「50代」の29%であり、この2つの年代だけで過半数を占める。シニア層の参加が多いのは前年から引き続き見られる傾向だが、本年度は更に高い年齢層の割合が上昇している。このことから、定年退職後の余暇の充実や生涯学習の提供といった役割を当事業が果たしていると言える。

## 2. 受講者の職業について

「主婦」23%、「無職」23%が最も多く、時間・曜日を選ばずに参加できることが影響したと思われる。また、昨年に引き続いて公務員も多くの割合を占めた。これは「総合自殺予防学インテンスィブコース」の開催により、行政機関の担当者が多く参加した影響と思われる。今後は、割合の多くない会社員や自営業等、社会人の参加を増やしていくため、仕事帰りや休日等、参加しやすい曜日や時間、会場の設定を心がけたい。

## 3. 受講した目的について

「講義内容に魅力があるため」が約半数を占めるのは以前から続く傾向であり、「大学教員の講義に魅力があるため」と合わせると60%を占め、受講者の興味を引くような講座内容を提供することができていると言える。また、「教養を高めるため」「生き甲斐をもつため」の2項目が約20%を占めることから、余暇の充実や生涯学習を動機とする受講も多いことがうかがえる。また「総合自殺予防学インテンスィブコース」への職務上の研修による参加者がいるため、「仕事・実生活に活かすため」が一定の割合を占めている。

さらなる受講者増を目指すため、各講座の広報が、そのテーマに興味を持つ人に確実に届くよう、宣伝方法を工夫したい。

## 4. 公開講座を何で知ったか

「郵送・電子メール案内」が41.4%で最も多く、過去受講者への案内送付が効果を上げていることがわかる。次いで多いのが「ポスター・チラシ」で、ポスター・チラシを各方面に送付する方法が、一定の効果を上げていることを示している。今後は、リピーターだけではなく、新規の受講者を開拓できるよう広報を工夫する必要がある。

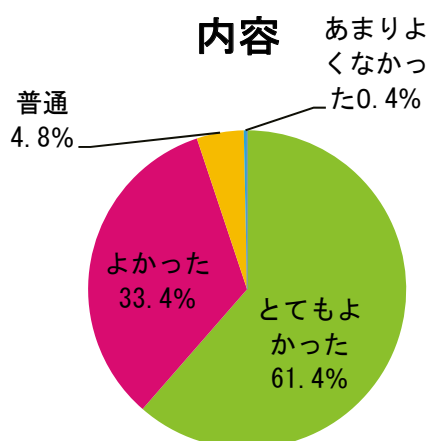
## 5. 講座の内容・方法について

「とても良かった」48%、「良かった」47%となっており、ほとんどの参加者が講座について満足していることが伺える。「期待はずれ」という回答は、「初心者向けで物足りない」というレベルのマッチングに問題があった場合であった。広報の際には、講座内容やレベルについて誤解なく伝わるよう心がけたい。

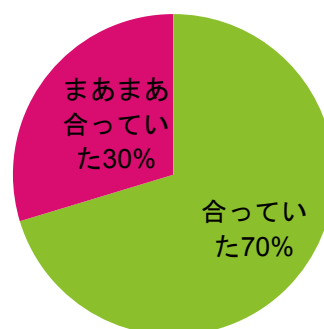


# 平成23年度大学訪問アンケート集計結果

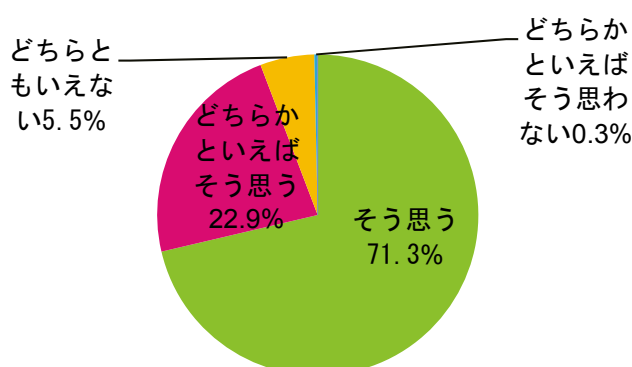
## ■ 中学校・高等学校



### 目的に合っていたか



### 大学に対する興味が増したか



訪問者数：310

アンケート回収数：293

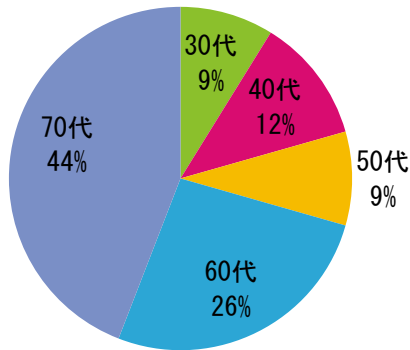
## ■ アンケート結果分析

内容については「とてもよかった」「よかった」の2項目で94.8%を占め、目的や希望にあわせ、生徒の興味を引くような内容を実施できていると思われる。これは「目的に合っていたか」の回答も肯定的評価が100%を占めていることからもうかがえる。

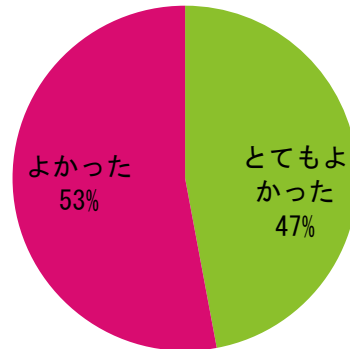
その一方で、「あまりよくなかった」という回答も極少数見られた。「大学に対する興味が増したか」の回答でも、肯定的評価が90%以上を占めてはいるものの、「どちらかといえばそう思わない」という回答も存在するため、目的や希望内容をより掘り下げて聞き取ることや、生徒の興味を引くような説明になるよう工夫する必要がある。

■一般（公民館講座、町内会等）

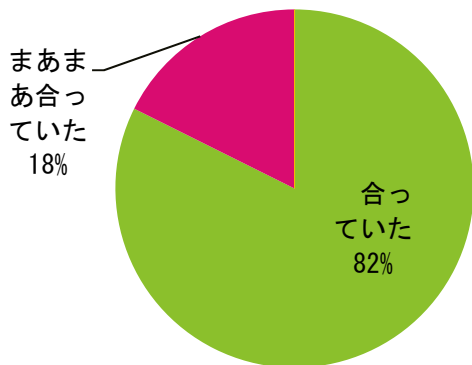
年齢



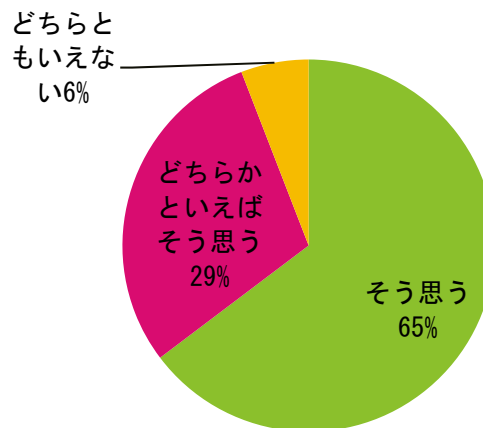
内容



目的に合っていたか



大学に対する興味が増したか



訪問者数：50  
アンケート回収数：34

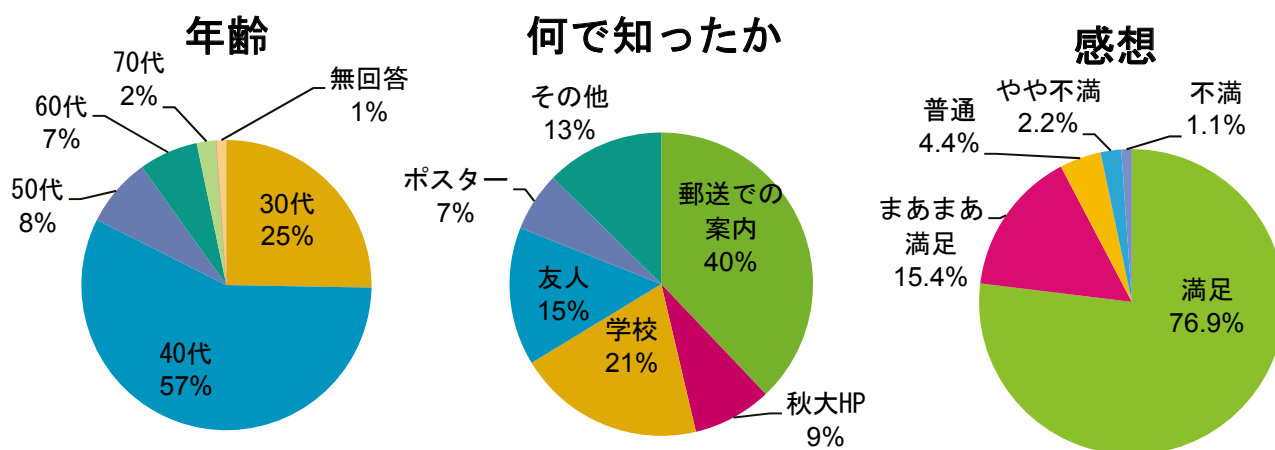
■アンケート結果分析

年齢では、70代が最も多く、次いで60代が多くなっている。これは、公民館講座等の生涯学習を目的とした団体の訪問がほとんどだったためと考えられる。「内容」と「目的に合っていたか」の2項目で肯定的評価が100%を占めており、目的や希望に合わせた内容を実施できていると言える。

今後は、大学に対する興味・関心をより一層引き出せるような内容になるよう、見学場所や体験内容の充実を図りたい。

## 平成23年度講演会等アンケート集計結果

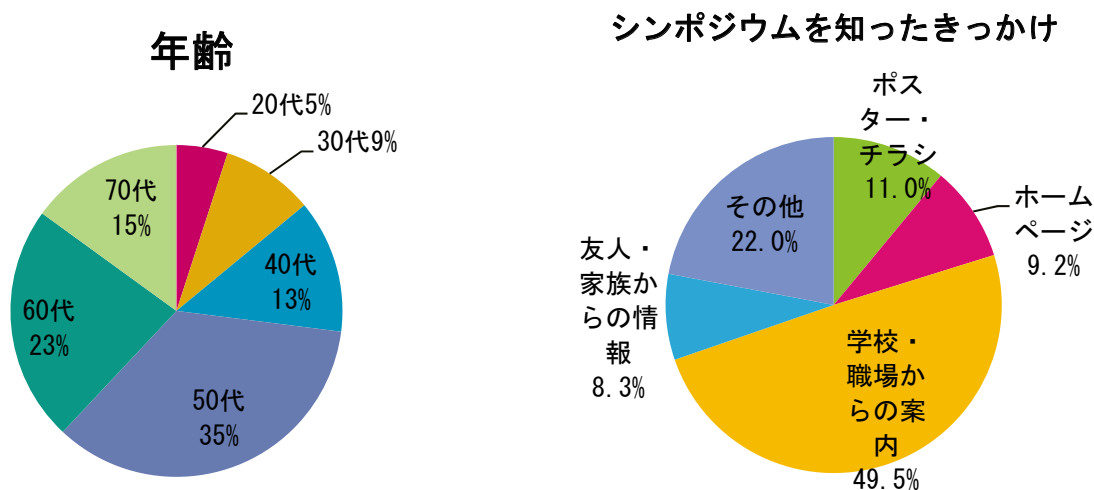
### ■秋田大学子ども見学デー ～大学ってどんなところ？家族といっしょに大学生！～ 【保護者】



保護者の年齢層としては、対象である小・中学生の年代を子どもに持つ30代～40代の参加が多い。「何で知ったか」の項目では「郵送での案内」が40%と最も多く、過去参加者への案内送付が効果を上げており、リピーターが多いことがうかがえる。感想では、肯定的意見が80%を占め、おおよそでは満足する内容を提供したものと判断される。一方、「やや不満」「不満」の意見も極少数ながら存在するため、保護者の目に写った不満を次年度への参考としたい。

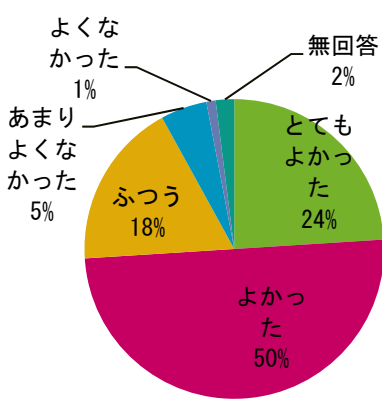
### ■平成23年度大学改革シンポジウム

#### 「地域課題解決のアプローチと地域に学び育つ学生力～秋田大学北秋田分校事業～」

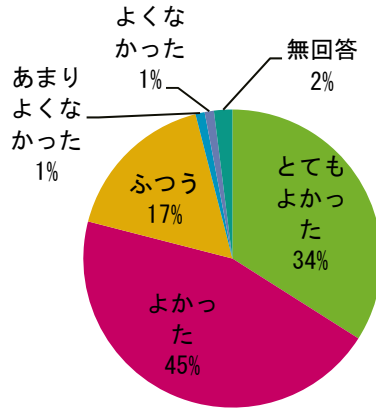


## 【感想】

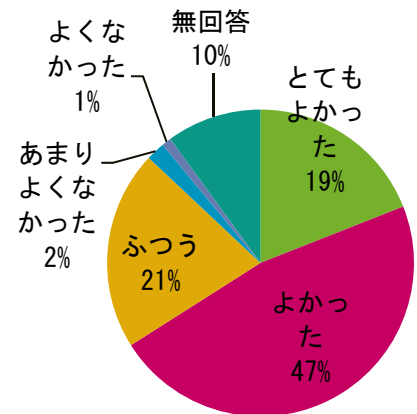
事例紹介：珪藻土を活用した冷却アイテムの実用化に向けて



事例紹介：秋田内陸縦貫鉄道振興

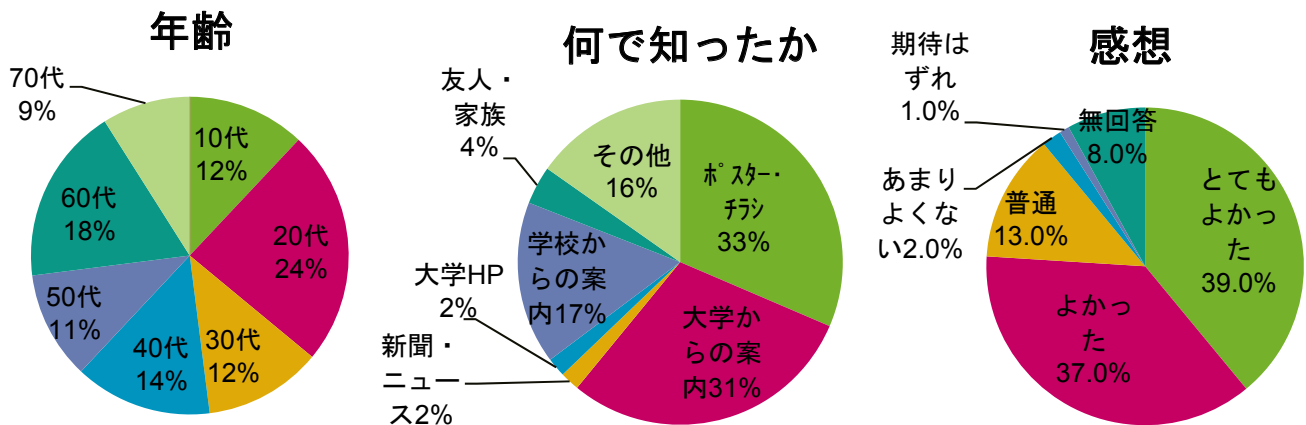


パネルディスカッション



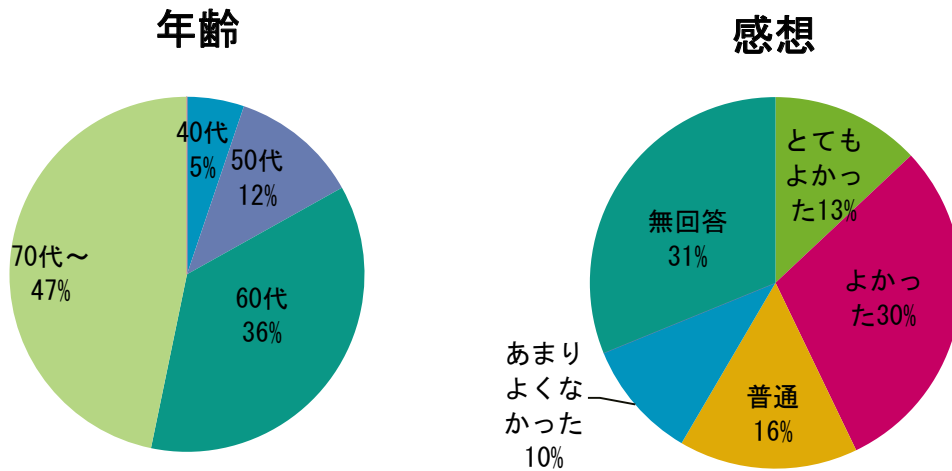
参加者の年齢層では50代以上が大半を占め、参加のきっかけとしては「学校・職場からの案内」が最も多く約50%を占める。感想としては、おおむね好評価だった。「よくなかった」という評価では「専門的な用語など解説が欲しい」などの意見が見られ、今後は、一般の参加者への配慮が必要だと思われる。

## ■秋田大学特別講演会「法医学と社会の接点」



10代から70代までの幅広い年齢層の参加があった。講演会を知ったきっかけとしては「大学からの案内」が最も多く、講演会等の過去参加者への案内が効果的だったと考えられる。感想としては、「とてもよかった」「よかった」の2項目で約80%を占め、おおむね好評であった。

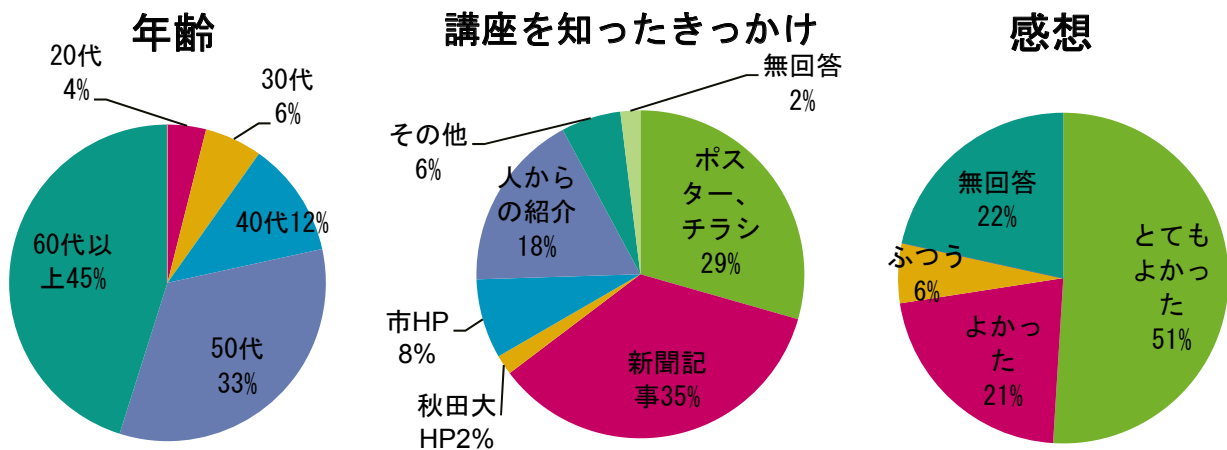
■秋田大学横手分校講演会「横手を訪れた画家たち」



参加者の年齢層では、60代～70代以上が大半を占めている。感想としては、43%が肯定的評価だったが、「あまりよくなかった」という意見も見られた。自由記述から、会場の音響が悪く、聞き取りづらかったという意見が多数あったため、今後、実施の際に考慮する必要がある。

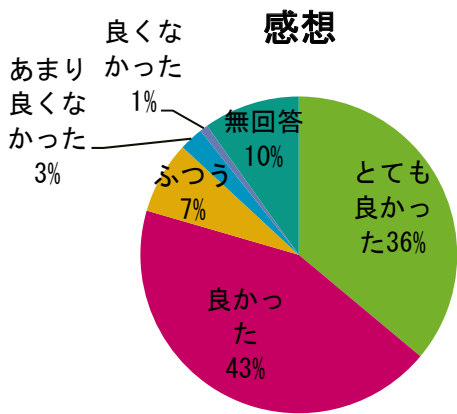
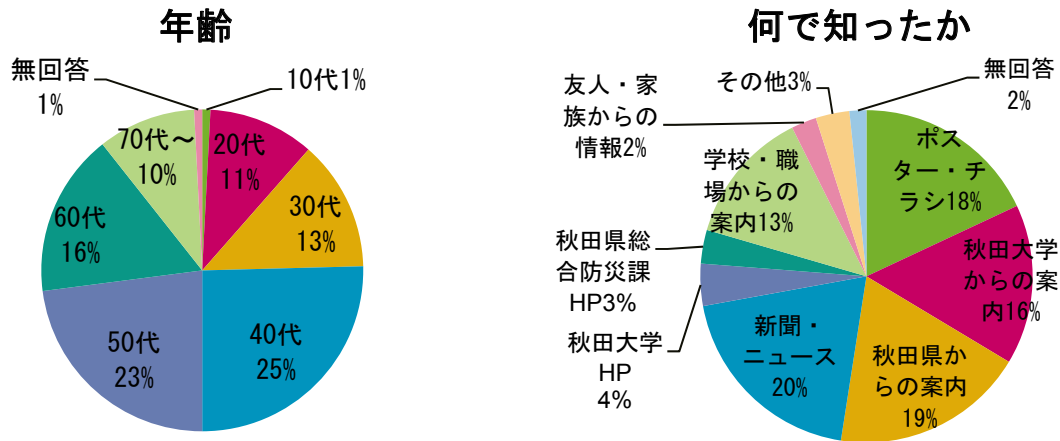
■秋田大学北秋田分校公開講座

「巨大噴火の遺産、胡桃館遺跡～火山防災・地域活性化への活用を目指して～」



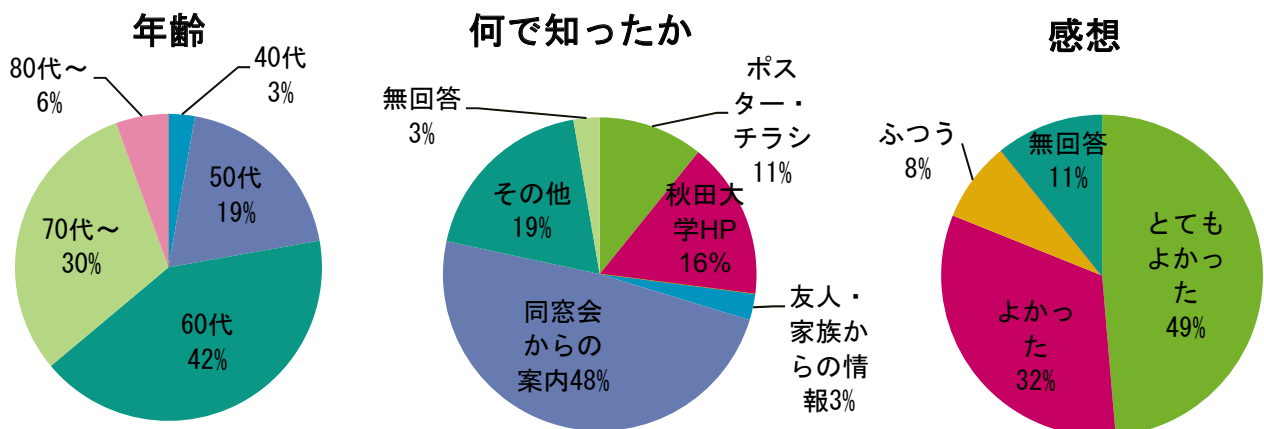
参加者の年齢層としては、50代以上が約80%を占める。講座を知ったきっかけとしては「新聞記事」が最も多く、その影響もあってか、講座定員を上回る参加申込があった。講座の感想としても、「とてもよかった」「よかった」の2項目で72%を占め、好評であった。

■秋田大学シンポジウム「日本海側北部地域における震災とその対策について」



「とても良かった」「良かった」の評価が全体の80%を占める。東日本大震災最大の被災地である石巻市亀山市長が石巻市の現状とこれからの復興について講演したこと、さらに工学資源学研究科松富教授による専門的解説による評価と考える。

■秋田大学公開講座「日本海側北部地域における震災とその対策について in 東京」



参加者は、秋田大学卒業生、秋田県出身者等、秋田県に縁のある方々であるため、アンケートでは秋田県を懐かしむ声が多くある。卒業生等の繋がりを続けていくためにも、継続して実施したい事業である。



平成23年度社会貢献事業ポスター（一部）

詩は難しい、ましてや英語で書かれた詩などと思われながらも、誰かが安全、安心、快適に生活できる、美しい空間の創出が望まれています。本講座では、そのために必要とされる社会資本（インフラストラクチャー）の整備理念について解説します。

詩は難しい、ましてや英語で書かれた詩などと思われながらも、誰かが安全、安心、快適に生活できる、美しい空間の創出が望まれています。本講座では、そのために必要とされる社会資本（インフラストラクチャー）の整備理念について解説します。

本講座では、「ソネット」（十四行詩）などの短詩を対訳で読みながら、ひとつひとつの言葉を味わいつつ様々な時代の英語に触れていきます。英文学の柱である詩を通じて、英国文化に触れてみましょう。

平成 23 年度秋田大学公開講座  
**英語の詩を読んでみませんか？**  
—対訳で味わう英詩の世界と英国文化—

第1回 6月22日(水) 英詩鑑賞のための基礎知識  
第2回 6月29日(水) 英国ルネサンス期の恋愛詩を読む  
第3回 7月6日(水) 十七世紀の宗教詩を読む  
第4回 7月13日(水) 十八世紀の諷刺詩を読む  
第5回 7月20日(水) ロマン主義時代の自然詩を読む

会場 カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-51 明徳ビル2F)  
日時 平成23年6月22日(水) ~ 7月20日(水) 18:30~20:00 毎週水曜日 5回シリーズ  
対象 どなたでも(定員:30名) ※定員に達し次第締め切りいたします。  
受講料 2,500円 ※講席初回に受付にてお支払いください。  
お申し込み方法 電話・FAX・Eメールでお申し込みください。(秋田大学地域創生課でも受け付けております)

講師 秋田大学教育文化学部 欧米文化講座 大西洋一 准教授  
Nicholas Hilliard 「肖像の中の青年」(1588)

秋田大学 地域創生課  
TEL:018-889-2270 FAX:018-889-3162  
秋田大学 HP <http://www.akita-u.ac.jp/>

平成23年度秋田大学公開講座

地域環境とインフラの旅

私たちが日常生活を営む都市や地域社会。そこでは、誰もが安全、安心、快適に生活できる、美しい空間の創出が望まれています。本講座では、そのために必要とされる社会資本（インフラストラクチャー）の整備理念について解説します。

第1回 8月8日(月) 「世界の橋・秋田の橋」 秋田大学大学院工学資源学研究所土木環境工学専攻 教授 川上 海  
第2回 8月22日(月) 「いろいろな土と地盤のはなし —身近な土から月面の土まで—」 秋田大学大学院工学資源学研究所土木環境工学専攻 准教授 篠野 俊寛  
第3回 8月29日(月) 「ヨーロッパと比較した日本の景観まちづくり」 秋田大学大学院工学資源学研究所土木環境工学専攻 准教授 浜岡 秀勝  
第4回 9月5日(月) 「世界の交通事情 日本との比較」 秋田大学大学院工学資源学研究所土木環境工学専攻 准教授 浜岡 秀勝  
第5回 9月12日(月) 「木橋の話」 秋田大学大学院工学資源学研究所土木環境工学専攻 准教授 後藤 文彦  
第6回 9月26日(月) 「建設材料は地産地消の先駆け」 秋田大学大学院工学資源学研究所土木環境工学専攻 准教授 徳重 英信

時間: 18:30~20:00  
会場: カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-51)  
対象: どなたでも  
定員: 30名  
受講料: 3,000円

お申し込み・お問い合わせは  
**秋田大学**  
地域創生課  
TEL:018-889-2270 FAX:018-889-3162  
E-mail: shokoken@jimu.akita-u.ac.jp  
秋田大学 HP <http://www.akita-u.ac.jp/>

平成23年度秋田大学公開講座

身近な人を支える知識と技術  
～保健学からの提案～

わたしたちの周りには、健康に不安があったり、障がいを持っている人がたくさんいます。このような方々やその家族にとって、専門的なかわりに加えて身近にいる人からの支援がとて大きな力になることがあります。また、今回の震災をきっかけに、改めて身近な人を支えることについて考えた人もいるのではないのでしょうか。保健学を通して病状や障がい、そして健康について理解を深め、身近な人を支えるために必要な知識と技術を一緒に学んでみませんか。

第1回 11月10日(木) 食べる障害とその対応 秋田大学医学系研究科保健学専攻作業療法学講座 助教 高橋 恵一  
第2回 11月17日(木) 身近なひとの健康を支える看護 秋田大学医学系研究科保健学専攻基礎看護学講座 教授 佐々木 真紀子  
第3回 11月24日(木) 家族介護者の支援 秋田大学医学系研究科保健学専攻理学療法学講座 助教 上村 佐知子  
第4回 12月1日(木) 母乳育児のすすめ 秋田大学医学系研究科保健学専攻母子看護学講座 助教 吉田 倫子

時間 18:30~20:00  
会場 カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-51)  
対象 どなたでも  
定員 30名 (定員に達し次第締め切りいたします)  
受講料 2,000円

お申し込み・お問い合わせは  
**秋田大学**  
社会貢献推進室  
TEL:018-889-2270 FAX:018-889-3162  
E-mail: shokoken@jimu.akita-u.ac.jp  
秋田大学 HP <http://www.akita-u.ac.jp/>

平成23年度秋田大学公開講座

声楽講座—秋田の歌曲を歌う—

成田為三や小松耕輔など、秋田県出身の作曲家の歌曲を取り上げます。基礎的な声楽発声や歌唱法を学びながら、作曲家の生涯や作風等について理解を深めましょう。歌う喜びや声を出す楽しさを感じて、自由に音楽を楽しんでみませんか。

講師 秋田大学教育文化学部音楽教育講座 准教授 爲我井 壽一  
特別講師 秋田大学教育文化学部音楽教育講座 准教授 佐川 器 (第4回) 作曲家・ピアニスト 会田 進学 (第5回)

会場 秋田大学60周年記念ホール(教育文化学部3号館145講義室)  
時間 13:30~15:45(休憩15分)  
対象 どなたでも(定員15名) ※定員に達し次第締め切りいたします。  
受講料 2,500円

第1回 11月13日(日) 発声・呼吸練習方法 課題曲学習について  
第2回 11月20日(日) 成田為三・小松耕輔の歌曲  
第3回 12月4日(日) 後藤慧一郎・平岡均之・石田一郎の歌曲  
第4回 12月11日(日) 「秋田の歌曲」レクチャー  
第5回 12月18日(日) 演奏発表

お申し込み・お問い合わせは  
**秋田大学**  
地域創生課  
TEL:018-889-2270 FAX:018-889-3162  
E-mail: shokoken@jimu.akita-u.ac.jp  
秋田大学 HP <http://www.akita-u.ac.jp/>  
主催: 秋田大学 共催: 大学コンソーシアムあきた

# 平成23年度社会貢献事業ポスター（一部）

## 人形浄瑠璃に親しむ

平成二十三年秋田大学公開講座

講師  
秋田大学教育学部音楽教育講座  
准教授 武内恵美子  
定員 20名  
※定員に達し次第締め切ります。

対象 小学生以上  
受講料 1,000円  
会場 カレッジプラザ  
（秋田市中通2丁目1-51）  
時間 一四・〇〇～一六・二〇

第一回 十月十六日（土）  
人形浄瑠璃の基礎  
第二回 十二月三日（土）  
人形と浄瑠璃  
第三回 十二月七日（土）  
時代物  
第四回 十二月十四日（土）  
世話物



人形浄瑠璃は、現在では「文楽」の名称で親しまれている日本の伝統芸能です。2003年にユネスコの世界無形文化遺産保護条約（見込前）において「人間の無形文化遺産の代表的な一覧表」に掲載され、2009年の第1回世界無形文化遺産に登録された、世界で認められた音楽芸能です。日本では鑑賞できる機会に限られており、少々敷居が高いイメージがあるかもしれませんが、しかし人形浄瑠璃には歌舞伎にはない魅力が満載です。秋田ではなかなか公演の機会はありませんが、この機会にぜひ親しんでいただき、伝承していくことの大切さを感じていただきたいと思います。

お申込み・お問い合わせは  
**秋田大学**  
地域創生課 TEL: 018-889-2270  
E-mail: shakoken@jimu.akita-u.ac.jp  
秋田大学 HP: http://www.akita-u.ac.jp  
主催: 秋田大学  
共催: 大学コンソーシアムあきた

## 平成 23 年度秋田大学公開講座 総合自殺予防学 インテンシブコース ～地域の絆づくりと自殺予防～

秋田大学では平成 19 年度より、大学院レベルの自殺予防学コースを開講、皆様からの御好評をいただいておりますが、今年度も以下によりインテンシブコースを実施することになりました。地域等で対策に関わっている実務の専門家を対象に、今後の自殺予防に役立てることを目指し開催いたします。

今年度は幅広い分野の講師を招いて、地域の絆づくりの先進事例や実践例を学び、秋田における心の健康づくり・自殺予防対策にどのように生かすかを考えたいと思います。

※本公開講座は地域自殺対策緊急強化事業費補助金（秋田県）の支援により実施します。

**第1回** 1月27日（金）  
「コミュニティーモデルによる自殺予防」  
関西国際大学人間科学部人間心理学科  
教授 渡邊 直樹

**第2回** 2月3日（金）  
「地域での世代間交流のつくりかた」  
東京都健康長寿医療センター研究所  
社会参加と地域保健研究チーム  
研究部長 藤原 佳典

**第3回** 2月10日（金）  
「震災、ストレス、自殺」  
新潟大学大学院医学総合研究科  
地域予防医学講座社会・環境医学分野  
教授 中村 和利

コーディネーター  
秋田大学大学院医学系研究科長・医学部長  
公衆衛生学講座  
教授 本橋 豊

主催: 秋田大学  
共催: 大学コンソーシアムあきた

**対象: 保健師、行政担当者、メンタルヘルスサポーター等**

**定員: 30名**  
※定員に達し次第締め切りいたします。

**日時: 平成24年1月27日（金）～2月10日（金）**  
**毎週金曜 15:00～17:00**

**会場: カレッジプラザ**  
（秋田市中通2丁目1-51 明徳館ビル2F）

**受講料: 1,500円**

お申込み・お問い合わせは  
**秋田大学**  
地域創生課  
TEL: 018-889-2270 FAX: 018-889-3162  
E-mail: shakoken@jimu.akita-u.ac.jp  
秋田大学 HP: http://www.akita-u.ac.jp

## 平成 23 年度 第1回横手市小学校外国語活動研修会・秋田大学公開講座 小学校教員のための英語教育レッスン

— 平成 23 年度より、小学校 5 年生と 6 年生を対象とした外国語活動が導入されました。—  
— 英語が得意でない先生でも無理なく実践できる活動やマニュアル、指導方法を紹介いたします。—  
また、実際の授業をイメージしながら、デモンストレーションや英語活動実践を行います。  
講座を通して、子どもたちに自信を持って教えられる英語力と実践スキルを向上させましょう。

**日 時: 平成23年8月22日（月）** 対象: 横手市内小学校教員  
**9:15～16:20** 申 込: 裏面の担当あてにお申し込み下さい。  
定 員: 25 名程度

**会 場: 横手市交流センターY<sup>2</sup>ぷらざ**  
**3F 研修室 3（横手市駅前町1-21）**

**PROGRAM**

講義 I 言語習得について

演習 I A L T の役割・T T の方針についての討論

演習 II 英語表現の練習

演習 III スムーズな A L T と日本語教員のコミュニケーション・活動の実演

演習 IV 学級担任単独での効果的な指導方法について

演習 V 模擬授業の発表

秋田大学教育推進総合センター専任教員  
前横手清陵学院中学高等学校教諭

秋田大学教育推進総合センター専任教員  
前ジェームス英会話講師総括ディレクター

横手市教育委員会教育指導部教育指導課

**濱田 陽** 助教

**ジョー・サイクス** 助教

**西村 直崇** 指導主事

主催 **横手市教育委員会** **秋田大学** 横手分校

## 中学生科学教室 果物の香りを作ろう!

主催 秋田大学横手分校

いろいろな果物には、それぞれ異なるとてもいい香りがあります。そのうちのいくつかは、簡単な化学反応によって作るすることができます。この教室ではまったく異なる匂いを持つものから、果物の香りをつくります。とても不思議な化学の世界を楽しんでください。

**先生は**  
秋田大学大学院工学資源学研究所  
いのうえ ゆきひこ  
**井上 幸彦** 先生

楽しい化学実験に  
チャレンジしてみませんか?

**参加無料!**  
気軽に応募してね!

お申込 **秋田大学** 横手分校  
お問合せ先 **秋田大学** 横手分校  
秋田大学ホームページ <http://www.akita-u.ac.jp/>  
TEL: 0182-38-8304 FAX: 0182-32-4056  
E-mail: shakoken@jimu.akita-u.ac.jp

**対象** **定員20名**  
**中学生の皆さん**

**会場**  
**横手高等学校** 横手高等学校全日制  
(横手市陸成)とは  
**「青雲館」**とは  
場所が異なります。  
ご注意ください!  
(横手市前郷二番町10番1号)

**日時**  
**平成24年1月10日（火）**  
**午後1時～2時半**

**持参する物**  
**内履き、筆記用具**





落合 朗風「かまくら」

秋田大学横手分校公開講演会

# 横手を訪れた 画家たち

これまで横手を訪れ、かまくらを題材とした作品を残した画家たち、また横手にゆかりのある画家を作品に触れながら紹介します。

藤田嗣治／落合朗風／東山魁夷／酒井三良

日時：平成24年2月18日（土）  
開場 12：30  
開演 13：00～14：30  
場所：横手市交流センター Y<sup>2</sup>ぷらざ 3階 研修室3

■定員30名 ■参加無料。申込が必要です。

酒井 三良「かまくら」

講師：秋田大学教育文化学部 美術教育講座 猪巻 明 准教授

お申込 秋田大学 横手分校 <http://www.akita-u.ac.jp/>  
お問合せ先 TEL:0186-33-6304 FAX:0186-32-6054  
E-mail:shakoken@jimu.akita-u.ac.jp

平成23年度大学改革シンポジウム

## 地域課題解決のアプローチと 地域に学び育つ学生力

～秋田大学北秋田分校事業～

秋田大学は、「地域との共生」を目標に掲げ、地域活性化を共に目指す各主体との連携により多様な取組を展開しながら、学生にも地域との関わりを持たせ学ばせてきました。これらの実践活動事例を発表すると共に、地域活性化への住民の期待感を確かめ、併せて意見交換する場としてシンポジウムを開催、教育・研究・地域貢献の「地域創生の環」による連関効果を秋田大学から発信します。

日時 平成23年  
**11月21日（月）**  
14：30～17：00  
(14：00 受付開始)

会場 北秋田市交流センター  
(北秋田市材木町 2-2)

参加者 秋田県内市町村関係者  
市民の皆様

※事前申込必要・参加無料

申込・問合せ先  
秋田大学地域創生課  
〒010-8502 秋田市手形学園町 1-1  
TEL：018-889-3201  
FAX：018-889-3162  
E-mail：shakoken@jimu.akita-u.ac.jp

主催：国立大学法人秋田大学  
共催：社団法人国立大学協会  
後援：北秋田市・秋田銀行

事例紹介  
I. 珪藻土を活用した  
冷却アイテム実用化に向けて  
II. 秋田内陸縦貫鉄道振興プロジェクト

パネルディスカッション  
「地域活性化の諸課題と地域連携について」

秋田大学北秋田分校公開講座

平安時代の十和田湖で起きた、日本の歴史上最大の噴火。その噴火の火山噴出物（灰）を運び取り、当時の建物を埋め、タイムカプセルのように現代に残した。

北秋田市の胡桃館遺跡は、このような建物群の遺跡であり、自然科学的・歴史科学的に見ても貴重な断片的遺産を持つものとされています。

本講座では、十和田火山の過去と未来の噴火、胡桃館遺跡の新築、防災と地域活性化への活用などについて学びます。

# 巨大噴火の遺産、胡桃館遺跡

火山防災・地域活性化への活用を目指して

講師 秋田大学 教育文化学部自然環境講座  
**林 信太郎 教授**  
(北秋田市胡桃館遺跡調査教育委員会委員)

◆日時：平成24年 3月24日 土  
午前10時～11時30分

◆会場：北秋田市交流センター2階 第1研修室

◆対象：どなたでも（参加は無料です）

◆定員：50名（事前申し込みが必要です）

※電話、FAX、E-mailのいずれかにより  
参加希望者の①名前②年齢③電話番号  
④住所（北秋田分校からの案内を希望する方）  
を下記までご連絡下さい。

主催 / 秋田大学北秋田分校

お申込み・お問い合わせ先  
秋田大学 北秋田分校  
秋田大学HP <http://www.akita-u.ac.jp/>  
TEL:0186-62-6606 FAX:0186-63-2586  
E-mail:shakoken@jimu.akita-u.ac.jp

秋田大学・かもあおさ実業校 共催 海辺の体験教室

# 海の生物学

～さばいて知ろう 地元のさかな～

男鹿の海で獲れる海産物の生態や特徴について学びます。解剖・観察のあとは、魚さばき術・料理法をご紹介します。実際に料理し、味わいます。海の生き物についておいしく学びませんか？

- ・観察材料についての説明（ホヤ・磯網で獲れた魚）
- ・解剖と観察
- ・さばき人による魚さばき術
- ・料理実践（ざっぱ汁など）
- ・試食 ……etc

講師  
秋田大学教育文化学部 准教授 石井 照久  
かもあおさ実業校 魚さばき人 大友 幸雄

日時 平成23年9月18日（日）  
10：00～12：00

会場 かもあおさ実業校  
(男鹿市戸賀加茂青砂山道添 38 番地)

定員 20人  
対象 どなたでも（親子参加歓迎）  
料金 300円（かもあおさ実業校 体験料金）  
準備するもの おにぎり  
エプロン（料理に適した服装）  
マイ包丁持参可

お申込み・お問い合わせは  
**秋田大学**  
地域創生課  
☎018-889-2270 ☎018-889-3162  
✉shakoken@jimu.akita-u.ac.jp  
秋田大学 HP <http://www.akita-u.ac.jp/>

かもあおさ実業校は……  
→JR男鹿駅から  
門前経由で21kmです！

平成23年度社会貢献事業ポスター（一部）

秋田大学・かもあおさ笑楽校共催 海辺の体験教室

# 海の生物学

～食べて学べる 学期ファイナル学会～

男鹿の海で獲れる海産物の生態や特徴について学びます。  
解剖・観察のあとは、魚さばき術・料理法をご紹介します。  
海の生き物についておいしく学びませんか？

- 日本魚鮭祭り
- 振る舞い鍋
- チャンチャン焼
- ミニレクチャー「鮭」

**講師**  
秋田大学教育文化学部 准教授 石井 照久  
かもあおさ笑楽校 魚さばき人 大友 幸雄

**日時** 平成23年10月16日（日）  
10:00～12:00

**会場** かもあおさ笑楽校  
（男鹿市戸賀加茂青砂字山道添38番地）

**対象** どなたでも（親子参加歓迎）

お申込み・お問い合わせは  
**秋田大学**  
地域創生課  
TEL: 018-889-2270 FAX: 018-889-3162  
E-mail: shakoken@jimu.akita-u.ac.jp  
秋田大学 HP: http://www.akita-u.ac.jp/

かもあおさ笑楽校は……  
→JR男鹿駅から  
門前経由で21kmです！

平成23年度 三大学連携事業

# 作る・知る・学ぶ

in 能代市

平成23年 11月5日（土）  
会場：能代市中央公民館  
能代市働く婦人の家  
（能代市道分町4-26）

秋田大学  
秋田県立大学  
国際教養大学

- 異文化交流事業 対象：小学生の親子  
会場：能代市働く婦人の家  
10:00～12:00  
「留学生と各国料理を作ろう」
- 市民講演会 対象：一般市民  
会場：能代市中央公民館  
13:00～13:50  
「東日本大震災 木質瓦礫の発生とその処理問題」  
山内 秀文  
（秋田県立大学木材高度加工研究所・准教授）  
14:00～14:50  
「秋田県で発生した被害地震と 東日本大震災後の防災」  
水田 敏彦  
（秋田大学地域創生センター・准教授）  
15:00～15:50  
「文化国家フランス： 絶対王政期から今日まで」  
阿部 邦子  
（国際教養大学国際教養学部歴史学専攻・助教）
- 高大連携事業 対象：高校生  
会場：能代市中央公民館  
13:00～13:50  
「国際化と人の自由移動 一人は私たちが考えておくべきこと」  
秋葉 文志  
（国際教養大学国際教養学部グローバル・リスタティス課程・助教）  
14:00～14:50  
「地球の環境変化と森林の役割」  
高田 彦彦  
（秋田県立大学木材高度加工研究所・教授）  
15:00～15:50  
「高齢者にやさしい地域づくり 社会政策と地域活動計画のあいだ」  
松岡 昌則  
（秋田大学地域創生センター・教授）

■問い合わせ  
**秋田大学地域創生課**  
TEL: 018-889-3201  
FAX: 018-889-3162  
E-mail: shakoken@jimu.akita-u.ac.jp  
主催 / 秋田大学、秋田県立大学、国際教養大学  
共催 / 能代市

秋田大学こども科学教室 in 八峰町

# 海の生物学

～ハタハタを見て、解剖して、食べて、知ろう～

馴染み深い身近な魚・ハタハタの生態や特徴について学びます。  
解剖・観察のあとは、実際に料理し、味わいます。  
海の生き物についておいしく学びませんか？

**講師**  
秋田大学教育文化学部 准教授 石井 照久

**日時** 平成24年3月4日（日）  
13:00～15:00

**会場** 峰浜地区文化交流センター「峰栄館」  
（八峰町峰浜田中野田沢20-1）

**定員** 30人  
**対象** 小・中学生（親子参加歓迎）  
**準備するもの** エプロン（料理に適した服装）  
※参加無料・要事前申込

お申込み・お問い合わせは  
**八峰町教育委員会 学校教育課**  
TEL: 0185-77-2816

主催：秋田大学地域創生センター・八峰町教育委員会

おうちの人といっしょに行こう！

平成23年度

# 秋田大学 子ども見学デー

～大学ってどんなところ？ 家族といっしょに大学生～

平成23年8月23日（火）  
9:10～12:00

集合場所：秋田大学60周年記念ホール プログラム：  
（教育文化学部3-145講義室） ①学長室の見学  
対 象：小・中学生 ②各コースに分かれて見学  
（保護者同伴で参加してください） ●教育文化学部  
募集人数：230人 ●医学部  
申込開始：平成23年7月26日（火） ●工学資源学部  
（申込開始日以前のお申込は ●総合情報処理センター  
無効となります。御注意ください） ●附属図書館

☆参加は無料！！  
☆事前申込が必要だよ！！

お申込み・お問い合わせは **秋田大学 地域創生課**  
TEL: 018-889-2270 FAX: 018-889-3162  
E-mail: shakoken@jimu.akita-u.ac.jp  
秋田大学 HP: http://www.akita-u.ac.jp/



平成23年度社会貢献事業ポスター（一部）

日時：平成24年2月13日（月）  
16：00～17：00  
場所：秋田大学60周年記念ホール  
主催：秋田大学  
対象：どなたでも  
定員：250名  
※要事前申込・入場無料

講師  
警察庁科学警察研究所  
福島弘文 所長  
法医学者。信州大学名誉教授。  
日本におけるDNA研究の  
第一人者。  
法医学は一見、私たちの生活には関係ないように思われる領域ですが、犯罪捜査や身元確認などで、大きな力を発揮しています。法医学者としての経験を踏まえ、科学警察研究所の役割や、法医学と社会の関わりについてお話しします。

秋田大学特別講演会

法医学と  
社会の接点

お申し込み・お問い合わせは  
秋田大学 地域創生課  
TEL：018-889-2270 FAX：018-889-3162  
E-mail：shakoken@jimu.akita-u.ac.jp

平成23年度 秋田大学シンポジウム

日本海側北部地域における  
震災とその対策について  
—東日本大震災を踏まえた地域防災のあり方を考える—

日時 平成23年  
11月1日（火）  
14:00～16:30  
情報交換会 17:00～18:30

会場 秋田ビューホテル（飛翔の間）  
（秋田市中通2-6-1）

対象 どなたでも  
定員 200名

参加無料  
※申込  
※会場  
※定員  
※希望者のみ

I 講演 14:20～16:30  
特別講演①  
最大の被災地 石巻からの報告  
～災害に強い復興モデル都市を目指して～  
宮城県石巻市長 亀山 紘  
特別講演②  
津波災害と今後の課題例  
秋田大学大学院工学資源学研究科 教授 松富 英夫

II パネルディスカッション 16:40～18:30  
パネリスト  
秋田大学地域創生センター 准教授 水田 敏彦  
秋田大学地域創生センター 准教授 鎌滝 孝信  
秋田大学地域創生センター 地域防災アドバイザー 野越 三雄  
秋田魁新報社報道部記者 小松 嘉和  
コーディネーター  
秋田大学教育文化学部 教授 林 信太郎

III 情報交換会 17:00～18:30（希望者のみ）

タイムスケジュール  
14:00～14:10 挨拶  
14:10～14:20 地域創生センター紹介  
14:20～15:00 特別講演①  
15:00～15:30 特別講演②  
15:30～15:40 休憩  
15:40～16:30 パネルディスカッション  
17:00～18:30 情報交換会  
※希望者のみ

お申し込み・お問い合わせは  
秋田大学 ☎ 018-889-2844  
地域創生課 ☎ 018-889-3162  
HP: http://www.akita-u.ac.jp/ bousai-se@jimu.akita-u.ac.jp

秋田県 ☎ 018-860-4562  
総務部総合防災課 ☎ 018-824-1190  
HP: http://www.akita-bousai.jp/ bousai@pref.akita.lg.jp

主催：秋田大学地域創生センター 共催：秋田県 後援：（株）秋田魁新報社 （株）秋田銀行 （株）北都銀行

平成23年度 秋田大学公開講座

日本海側北部地域における  
震災とその対策について  
-東日本大震災を踏まえた地域防災のあり方を考える-

in 東京

「安全」とは何か？  
秋田大学学長特別補佐（評価・社会貢献担当）  
地域創生センター長  
中田 真一

秋田県で発生した被害地震から学ぶ  
地域の防災力  
秋田大学地域創生センター地域防災部門長・准教授  
水田 敏彦

堆積物から読み取る  
海溝型巨大地震の歴史  
～地質学が今後の地震防災に果たす役割～  
秋田大学地域創生センター地域防災部門准教授  
鎌滝 孝信

12.20  
Tuesday  
13:30-16:00  
＜会場＞  
キャンパス・イノベーション  
センター東京  
（東京都港区芝浦3-3-6）

入場  
無料  
どなたでも  
参加できます

要  
申込  
（定員40名）

申込締切日  
12.13  
Tuesday

■お申し込み・お問い合わせ■  
秋田大学地域創生課  
〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1番1号  
TEL：018-889-2844 FAX：018-889-3162  
E-mail：bousai-se@jimu.akita-u.ac.jp

秋田大学東京サテライトオフィス  
〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6  
キャンパス・イノベーションセンター東京6階604号  
TEL/FAX：03-5440-9104  
E-mail：t-satellite@jimu.akita-u.ac.jp

主催 秋田大学







平成23年度 秋田大学地域創生センター年報

秋田大学地域創生センター 編集・発行

平成24年7月

〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1番1号

TEL 018-889-2270

FAX 018-889-3162

E-mail shakoken@jimu.akita-u.ac.jp